

2000年度

講義計画

桃山学院大学

講 義 計 画

國 情 概 論

東京大学出版会

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
比較文明論		通 期	4 単位	片 倉 穰
〔講義概要・学習目標〕 <p>この講義では、歴史研究の成果と最近の文明論を参照しつつ、世界史上に存在した、かつ現に存在している諸文明の特質を明らかにし、それらがいかに交流し、互いに他の文明を受容して姿容を遂げたか、その交流と接触の過程で摩擦あるいは衝突をおこしたのはなぜか等々、さまざまな角度から具体的に検討する。</p> <p>世界史の動向に強い影響を与えたイスラーム・インド・アフリカの諸文明、狩猟遊牧文明についても比較考察を加える。また従来、比較文明論では主たる論議の対象とならなかった風俗・医療・食物などの問題についてもとり上げてみたい。</p> <p>世界の諸文明と深くかかわってきた日本人の諸文明観を検討することも重要な研究課題である。こうした研究をとおして、文明論のなかの日本の位置を明らかにしたい。</p>	〔講義計画〕 <p>はじめに —— 文明について考える</p> <p>第1部 文明の比較 —— その基礎的考察 (1) 東洋と西洋 (4) 農耕と狩猟・牧畜 (2) キリスト教とイスラーム (5) アフリカをめぐる問題 (3) 仏教と儒教</p> <p>第2部 文明の交流 —— その実態と史的意義 (1) ヴァイキング (3) 沖縄の海洋活動 (2) 倭寇</p> <p>第3部 個別の問題に関する比較文明的考察 (1) 病気 (4) こども (2) 食物 (5) 高齢者（「老人」） (3) 浴場</p> <p>第4部 日本人の文明観 (1) 日本人のアジア文明観 (3) その他 (2) 日本人のアメリカ文明観</p> <p>おわりに —— まとめ</p>			
〔成績評価の方法〕 <p>期末試験等により評価する。</p>	〔参考文献〕 <p>伊東俊太郎『比較文明学を学ぶ人のために』世界思想社、1997年 吉澤五郎『世界史の回廊 —— 比較文明の視点』世界思想社、1999年 その他は教室で紹介する。</p>			
〔教科書〕 <p>教科書は使用しない。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
人文地理学	01	通 期	4 単位	野 尻 亘
〔講義概要・学習目標〕 <p>地理学は「地域」・「空間」および人間の「空間的行動」や「環境知覚」などを研究対象としている。地理学も当然のことながら固有の理論や法則を持っている。本講では人文地理学の理論や方法論の基礎について、学説史の流れに沿いながら展望することとしたい。</p> <p>地理学の論文を読む時、地理学の研究を行う時に必要な思想の体系についてわかりやすく解説する。</p> <p>従って、中学・高校で学習する「地理」の授業の内容とは異なる話となることを予め承知していただきたい。</p> <p>社会学・経済学・経営学を専攻する学生にとっての専門課程での教育内容と関連した授業を提供することを心がけたい。</p>	〔講義計画〕 <p>〈前期〉1. 探検記・産物誌から近代地理学へ 地理と地誌の違い 2. 生態学的視点と地域システム フンボルト・リッター ラッツェル・ブラーシュ 3. コロロギーから「地域分化」の研究へ リヒトフォーフェン・マルテ・ハーツホーン 4. 地理学における例外主義批判と計量革命 5. 「地域」と「空間」の違い 流動を分析する視点グラヴィティモデル 6. 行動地理学とタイムジオグラフィー</p> <p>〈後期〉7. 人文主義地理学 場所や景観の意味づけについて 8. マルクス構造主義と都市研究 9. 立地論 ウェーバー 輸送費・労働費・集積の利益 10. 立地論 レッシュ 市場の均衡と立地条件 11. クリスタラーの中心地研究 12. 現代における地理学の課題</p>			
〔成績評価の方法〕 <p>レポートにするか試験にするかは授業の進度と履修状況のみで決定する。</p>	〔参考文献〕 <p>西川 治 『人文地理学入門』東大出版会</p>			
〔教科書〕 <p>使用しない</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
人文地理学	02	通 期	4 単位	藤 森 勉
【講義概要・学習目標】 本講義では、人間の社会生活・社会活動が「地域」とどう関わってきたか、どんな問題があるかを事例研究の成果をもとに具体的に解説する。 その場合、地域の大きさや社会集団の大きさによって、それぞれ異なった関係が見られるので、前期は大スケールの場合を後期は小スケールの場合を取り上げる。	【講義計画】 〔前期〕大スケールの地域としてオーストラリアを対象とし、次の課題を解説する。 (1) 先住民族アボリジニーの生活と社会。 (2) イギリス植民地政策とアボリジニーの社会生活。 (3) 連邦成立と中国人・日本人移民。 (4) 日豪経済関係。 〔後期〕小スケールの地域として日本国内の諸地域について地域社会問題を解説する。 まず、人口分布・人口構成を解説した上で、 (1) 平野の農村 (2) 島の漁村 (3) 過疎山村 (4) 地方小都市 (5) 巨大都市を対象として地域の実態と問題点を解説する。			
【成績評価の方法】 定期試験による。	【参考文献】 必要に応じ紹介する。また、地図・資料等のプリントを配付する。			
【教科書】				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
文化人類学	02	通 期	4 単位	小 池 誠
【講義概要・学習目標】 文化人類学は、自分たちとは異なる文化を調査・研究し、この世界に住む様々な人々の文化的多様性を明らかにしてきた。この授業では、文化人類学独自のアプローチと方法論を通して異文化にたいする理解を深めることを目的とする。様々な民族の多様性だけでなく、多様性を通してあらわれてくる人類としての普遍性もみていきたい。私たちの常識とはまったく異なる習慣や社会のあり方をたんに珍しいものとか、遅れたものと見なすのではなく、それぞれに独自の価値を見いだす文化人類学の視点を理解してもらいたい。また、今日大きな話題となっている多文化社会と民族問題についても、より身近な問題として考えてもらいたい。受講者の関心と理解を深めるため、できるかぎりビデオなどの視聴覚教材を利用する予定である。	【講義計画】 〔前期〕 1 文化人類学とは何か？ 2 人類の文化と言語（文化とは何か、人類の言語はどんな役割をもつのか？） 3 家族と結婚の多様性（私たちにとって家族とは、結婚とは何か？そして異文化では） 〔後期〕 1 政治と経済（どうやって人は力をもつか、交換はどんな意味をもつのか？） 2 国家と民族（民族とは何か、なぜ民族は対立し憎しみあうようになるのか？） 3 宗教と儀礼（人は何を信じ、何を願うのか？）			
【成績評価の方法】 年度末試験の成績を基本にして評価する。ただし、夏休みの課題レポートと必要に応じて提出を求める小レポートの成績も加味する。	【参考文献】 講義のなかで必要に応じて紹介する。			
【教科書】				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
応用言語学		通 期	4 単位	橋 内 武
【講義概要・学習目標】 応用言語学とは何かについて考えたあと、 1. 言語問題の学（言語障害、識字、言語交替など） 2. 外国語教育学（教授法、教材・教具論、評価論） 3. 学際的言語学（言語学と隣接科学） 4. 言語と専門職の研究（通訳・翻訳、言語治療など） の4つの立場から応用言語学の課題と方法について明らかにしたい。 この科目を履修する過程で次第に身近な言語コミュニケーションの問題に関心が高まり、ことばについて多角的に考える習慣が形成されることが学習目的である。	【講義計画】 < 前期 > 第1週～第2週： 序論・応用言語学とは何か 第3週～第7週： 言語問題の学 第8週～第13週： 外国語教育学 < 後期 > 第1週～第7週： 学際的言語学 第8週～第12週： ことばと専門職 第13週： まとめと復習			
【成績評価の方法】 試験による	【参考文献】 R. B. カプラン編 「応用言語学入門」 研究社出版。 K. ジョンソン・H. ジョンソン編 「外国語教育学大辞典」 大修館書店。			
【教科書】 なし。適宜プリントを用意する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
比較芸術学		通 期	4 単位	リン コウサク 林 宏 作
【講義概要・学習目標】 すべての観察は比較ということの上に成り立っている。比較する ということは、その座標として、比較が行なわれるための一 定のカテゴリを前提とする。この講義では、エジプト・ギリシア・ インド・東亜などにおける彫塑の特徴を概述し、比較芸術 学の方法を明らかにしたい。	【講義計画】 1. 比較芸術学の課題と研究領域 2. エジプトの彫刻 3. ギリシアの彫刻 4. ローマの彫刻 5. 仏像の起源 6. 彫刻の素材			
【成績評価の方法】 レポートの提出と試験の成績	【参考文献】 「近代芸術学の成立と課題」(吉岡健二郎著 創文社) 「芸術の世界」(井島勉編 創文社) 「原色日本の美術」(小学館) 「中国美術全集」彫塑編(人民美術出版社)			
【教科書】				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
比較宗教学		通 期	4 単位	小 林 信 彦
【講義概要・学習目標】 仏教でブッダになるのは「心があるもの」に限られていて、植物には心がないと考えられている。ところが、日本人は「草や木も佛になる」と言う。万物に「たま」が宿ると信じる日本人にとって、植物を含む自然と人間の間には明確な境界線がないのである。この授業では、「ブッダ」と「佛」との違いを手掛かりに、インド人の世界観と日本人の世界観を比較する。	【講義計画】 日本の「仏教」に関する研究文献を読ませ、それを解説する課程でインド文献の記述と詳細に比較して、日本文化の本質を知る手掛かりとする。			
【成績評価の方法】 ① 四週間ごとに講義内容の要約を提出させる。 ② 学期末ごとに試験を行う。	【参考文献】 必要なものは複写して配布する。			
【教科書】 なし。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
言語文化特講（社会言語学）		通 期	4 単位	橋 内 武
【講義概要・学習目標】 社会との関係でことばのしくみとはたらきについて考えるのが社会言語学である。ことばそのものを自律的な体系として捉える狭義の言語学とは異なり、それを社会との相互依存的な体系として捉えるのが社会言語学である。それゆえ、社会言語学は学際的傾向をもつ。 前期にはマイクロ社会言語学の中核をなす談話分析（discourse analysis）の基礎と方法と応用について学ぶ。後期にはそれ以外の分野の基本的事項（例えば、言語変種論、言語変異論・多言語社会論など）を押さえる。 究極的には、履修する学生諸君がことばに対する規範的な思い込みから解放されて、より幅の広い言語観をもつようになることをもって、本講の学習目標としたい。	【講義計画】 <前期> 第1週～第3週 ミクロ社会言語学と談話分析の基礎（目的・対象・方法） 第4週～第10週 談話分析のアプローチ（談話文法、会話分析・ことばの民族誌） 第11週～第13週 談話分析の応用（法言語学・文体論・辞書編集・教材開発） <後期> 第1週～第4週 言語の多様性 ― 社会方言と言語変化 第5週～第8週 言語の多様性 ― レジスターと言語意識 第9週～第12週 多言語社会論 ― 言語保持と言語シフト、言語計画			
【成績評価の方法】 試験による。	【参考文献】 井上史雄 『日本語ウォッチング』 岩波書店。 真田信治、ダニエル・ロング 『社会言語学図集』 秋山書店。 真田信治、渋谷勝己・杉戸清樹 『社会言語学』 おうふう。 トラッドギル、P. 『言語と社会』 岩波書店。			
【教科書】 橋内 武 『ディスコース ― 談話の織りなす世界』 くろしお出版。（前期用） 中尾俊夫・日比谷潤子・服部範夫 『社会言語学概論』 くろしお出版。（後期用）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
言語文化特講（対照言語学）		通 期	4 単位	佐 藤 恭 子
【講義概要・学習目標】 言語の基本的知識を学ぶことを目的とします。母国語としての日本語や、外国語として、習得の過程にある英語を中心として、外国語の全体構造を把握していきます。 いままで、言葉のしくみを、具体的に考えたことはないと思いますが、一見異なるようにみえる各言語にも共通性、普遍性があることに気づくことは重要です。	【講義計画】 1. 言語学とは。基本図書等の紹介。 2. 言語研究の枠組み－音韻、構文、意味、談話 3. 音韻論－音素の体系、アクセント 4. 形態論－単語、形態素 5. 統語論－文の構造 6. 意味論－意味の記述 7. 問題考察、まとめ 8. 語用論－言語と使用される状況 9. 社会言語学－言語と社会 10. 心理言語学－言語と心理的要素 11. 言語習得論－外国語学習の習得 12. コーパス言語学－言語とコンピュータ 13. 問題考察、まとめ			
【成績評価の方法】 レポート	【参考文献】 言語学入門（田中春美ほか。大修館書店。1994年 1650円） 教養のための言語学コース（小泉保 大修館書店。1984年） 講座 言語1 言語の構造（柴田武 大修館書店。1980年） 日英語比較講座 5 文化と社会（国広哲也編 大修館書店。1993年 2100円） 外国語習得 その学び方100の質問（水野 光晴 研究社出版 1995年3000円）			
【教科書】 なし				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
比較文化特講（性と権力：東西史の裏街道）		通 期	4 単位	フィリップ ビリングズリー Philip Billingsley
【講義概要・学習目標】 ある国の「文明度」を測るのにもっとも手っ取り早い方法はその国に生きる女性の社会的地位を見ることだ、とだれかが言った。つまり、性と権力とのあいだには切っても切れない関係がある。歴史を通して、女性やゲイは甚だしい迫害をされてきた。Y2Kに直面する私たちの社会はそのような性差別の歴史にはもはや「終止符を打った」と思いがちだけれど、隠れたところにはその名残は未だに残っている。 当講義では様々な「コネクション」――つながり――（たとえば、「魔女狩り」、「フランケンシュタイン」、そして原子力爆弾といった、何の関連もないように見える項目をつなげる糸）を追求し、私たちがなかなか気づかない、現代にも長い影をかける「歴史から隠されてきた」問題に対して新しい光を投げかける。そうすることによって、私たちの「性と権力」に対する通常の認識を再検討してみたい。 講義の主な目標は私たちが持つ様々な固定観念を見抜くこと。授業中には堅苦しい教壇からのお説教スタイルをなるべく避け、その代わりに映画、音楽、テレビ番組などをフルに活用し、受けやすい授業にしたいと思っている。使用する言語は英語だが、どの学生も頑張れば聞き取れるようありとあらゆる工夫はするので、安心して受講して下さい。しかし、どの学生も毎回出席する必要があり、提出物も定期的に要求される。	【講義計画】 未定			
【成績評価の方法】 レポート、テスト(小、大)、及び出席率	【参考文献】 授業中に配布する			
【教科書】 なし				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
比較文化特講 (ヒトの起源・身体と文化)		通期	4単位	尾本 恵市
[講義概要・学習目標] ヒト（ホモ・サピエンス）は分類学上チンパンジーに近縁のサル的一种であるが、文化によって環境に適応するばかりか、環境を改変し、さらに改変された環境に適応するという「文化依存性の進化」をとげたために、一般のサルとは身体的にも行動上も非常に異なる存在になった。また、ヒトは文明をつくる唯一の動物であるが、それも文化依存性の進化の一つの帰結である。現在われわれが直面する地球の多くの危機的状況の原点はここにある。われわれは、このことを自覚し、子孫のためにも対処する方策について考えなければならない。この講義では、ヒトの生物としての歴史の特異性と現代文明下での問題点について、自然科学的事実を文化系の学生にわかりやすく説明することを目標とする。	[講義計画] ほぼ次のような項目について講義する予定。 (1) 自然の中のヒトの位置。 (2) ヒトの身体的特徴。 (3) 人類の起源。 (4) 進化と適応。 (5) 文化と文明。 (6) 現代人の起源と地理的多様性。 (7) ヒトの成長の特殊性。 (8) ヒトの行動と文化。 自然科学の成果を文科系の学生にわかりやすく解説するため、専門用語をできるだけ平易な言葉で説明し、随時スライドやビデオを使用する。毎回出席をとるが、出席票に質問やコメントを書いてもらい次回に答えることによって、教師と学生との双方向的なコミュニケーションをはかる。			
[成績評価の方法] 試験は行わず、出席点およびレポートによって評価する。	[参考文献] 「分子人類学と日本人の起源」尾本恵市 裳華房 (1996)			
[教科書] 「ヒトはいかにして生まれたか」尾本恵市（岩波書店）、 (1998) その他、随時プリントを配布。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
アジア文化史		通期	4単位	原山 煌
[講義概要・学習目標] 中国世界は、はるか古代から、アジアにおける巨大な文化の発光体のひとつでありつづけてきた。それは中国である。しかし、中国はやがてほかにも注目に値する文化が存在していることを知るようになる。他の文化圏から新鮮な文化が流入し、中国の文化も他の世界に大きな影響を与えることになるのは、いわば当然の流れである。 こうした交流を歴史的にふりかえり、異文化の接触によって何がもたらされたのか、どのような歴史的展開があったのか、そうしたことも考えてみたい。経済的交流はどのようになされてきたのか、文化的交流においてはどうか、考えるべき事は多い。 ここで考える諸種の交流に、遊牧民が大きく関わっていたのは注目すべき事実である。機動性を身上とする騎馬遊牧民なくして東西交流、あるいはアジア内部の南北交流はありえなかったといえよう。そうした貢献についても言及しておくことが必要である。	[講義計画] 1. この授業の目的と講義の進め方の説明 2. 中国世界の世界観 3. 中国が最初に見た手強い異族 4. 中国の対外知識の拡大 5. 東西交流のありかたを歴史的にあとづける 6. 達成されたこと			
[成績評価の方法] 授業への理解度を確認するための小テスト、年数回のレポート（参考文献を3冊以上参照したオリジナルな論考に限る。既存文献の丸写しは除籍）と、各期末の定期試験の成績によって総合的に評価する。	[参考文献] 授業中に随時紹介する。			
[教科書] 間野英二『中央アジアの歴史』新書東洋史8 講談社現代新書 講談社 1977				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本思想史		通 期	4 単位	三 宅 正 彦
【講義概要・学習目標】 日本人に大きな影響を与えた前近代の思想の歴史的展開を追う。原典の読解に重点を置いて内容の理解を深める。	【講義計画】 1. 神道(『古事記』など) 2. 仏教(『浄土三部経』『入宗系綱要』『諸宗佛像図彙』など) 3. キリスト教(『どちなキリしたん』など) 4. 儒教(『太極図』『太極図説』など) 5. 陰陽道(『大雑書』など)			
【成績評価の方法】 期末試験。(講義に欠かさず出席して内容の理解に努めていれば単位取得は容易。欠席が多ければ困難)	【参考文献】			
【教科書】 資料を配布する。ただし、配布時に出席している人に1回限りだけ交付する。そのとき欠席した人に対する追加配布や持参することを忘れた人に対する再配布は行わない。毎時資料を参照しなければ講義の理解は困難になる。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
アジア思想史		通 期	4 単位	リン 林 宏 作
【講義概要・学習目標】 四千年にも及ぶ中国思想史を一年間20教回の講義では到底述べ尽すことはできない。本年度は春秋時代から秦の天下統一まで、主に諸子百家の思想を明らかにし、それぞれの代表的な思想家について述べてみたい。	【講義計画】 ① 中国思想史の意義ならびにその分期について ② 諸子百家の時代 ③ 孔子 ④ 孟子 ⑤ 荀子 ⑥ 老子 ⑦ 荘子 ⑧ 韓非子			
【成績評価の方法】 レポートの提出と試験の成績	【参考文献】 狩野直喜「中国哲学史」(岩波書店) 武内義雄「中国思想史」(岩波書店) 小島祐馬「中国思想史」(創文社) 森三樹三郎「中国思想史」(第三文明社)			
【教科書】				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
民俗学		通 期	4 単位	橋 内 武
【講義概要・学習目標】 民俗学は庶民が生活の中で伝承してきた文化を観察・記録する中から成立した学問である。その対象範囲は生活文化万般にわたるが、本講では、前期に人生儀礼・年中行事・俗信、後期に口承文芸（特に昔話）を取り上げる。これらの文化事象を扱いながら、民俗の見方を手に入れることができれば学習の目標が達成されたことになる。	【講義計画】 <前期> 第1週～第2週 民俗学とは何か 第3週～第6週 人生儀礼（産育・婚姻・葬送） 第7週～第9週 年中行事（正月と盆を中心に） 第9週～第13週 俗信 <後期> 第1週～第2週 口承文芸（神話・伝説・昔話・世間話など） 第3週～第5週 昔話の分類（むかし語り、動物昔話、笑話、形式話） 第6週～第12週 昔話研究の方法（起源・歴史・構造・機能） 第13週 まとめ			
【成績評価の方法】 試験による。	【参考文献】 赤田光雄ほか編 『講座 日本の民俗学』 雄山閣。			
【教科書】 稲田浩二編 『日本の昔話』（上・下） 筑摩書房。（後期に用いる。）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本文化研究（歴史） (旧日本文化研究Ⅱ)		通 期	4 単位	横 井 清
【講義概要・学習目標】 毎授業時間に一つの小主題を設定して講義する。	【講義計画】 例年通り、予め計画は提示せず、季節感覚、折々の社会・文化現象などを考慮に入れながら、そのつど小主題を特定しつつ実施する。			
【成績評価の方法】 学年末の筆記試験による。	【参考文献】 必要に応じて随時授業の中で紹介する。			
【教科書】				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
アジア文化研究（中国文化） （旧中国文化研究Ⅱ）		通 期	4単位	松 浦 典 弘
【講義概要・学習目標】 東アジア世界に大きな影響を及ぼしてきた前近代中国の文化を検討する。中国に特徴的な現象を取り上げることによって、受講生が伝統中国の本質を捉えることができるように進めていきたい。 他の歴史世界と比較して、中国史に関しては連続性が強調されることが多いが、どのような点が引き継がれてきたのだろうか。そうした点に関しても時代に応じて変化している部分はあるはずだが、一体どう変わってきたのか。現代中国との関わりも視野に入れながら述べていく。		【講義計画】 中国とは 中国の北と南 農耕と牧畜 中国人と歴史学 士と庶 科挙と中国社会 宦官		
【成績評価の方法】 期末試験を基準に評価する。レポートや小テストなどにより、日頃の取り組みも加味する。		【参考文献】 授業中、適宜紹介する。		
【教科書】 特に使用しない。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
アジア文化研究（東南アジア文化） （旧東南アジア文化研究Ⅱ）		通 期	4 単位	小 池 誠
【講義概要・学習目標】 この講義では歴史と言語、民族の構成、多様な民族文化から始めて、今まさに変化しつつある東南アジアの社会と文化の現状までをテーマとして取り上げる。多様な文化のあり方を理解するために伝統芸能や儀礼などの民族文化だけでなく、映画・ポップス・テレビなどの現代のポピュラー文化なども題材に取り上げたい。受講者の関心と理解を深めるために、できるかぎりビデオなどの視聴覚教材を使用する予定である。多様な東南アジア諸国のなかから、前期はインドネシアを中心に、後期はシンガポール・フィリピン・タイを中心にして、講義を進めたい。受講者には、各国の民族的・文化的多様性をその歴史的背景とともに知ってもらいたい。また、それぞれの国民が現代の国家体制のなかでどのように生き、どう自分たちを表現しているのか理解してもらいたい。		【講義計画】 （前期） 1 東南アジアへのアプローチ法 2 インドネシアの歴史と言語 3 インドネシアの政治と宗教 4 インドネシアの生活文化（衣と住宅） 5 インドネシアの地方文化（ジャワとスンバ） 6 インドネシアのポピュラー文化（テレビとポップス） （後期） 1 シンガポールの二言語教育 2 シンガポールの住宅と生活 3 フィリピンの多様な民族文化（山の民と海の民） 4 フィリピンのポピュラー文化 5 タイの仏教と都市文化 6 タイの民族芸能		
【成績評価の方法】 年度末試験の成績を基本にして評価する。ただし、夏休みの課題レポートと必要に応じて提出を求める小レポートの成績も加味する。		【参考文献】 講義のなかで必要に応じて紹介する。		
【教科書】 小池誠『インドネシア——島々に織りこまれた歴史と文化』三修社				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
西洋文化史		通 期	4 単位	岩津 洋二
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>「西洋」と称される地域には多くの民族が存在し、それぞれ独自の文化的な伝統をもっている。その点では、世界の他の地域の場合と同様である。しかし、今日の世界において「西洋」は単なる一地域の名称にとどまるものではなく、先進の近代社会の代名詞でもある。多くの国々にとって近代化とは西洋化のことにほかならない。明治以降の日本と日本人にとっても、西洋と西洋人は模倣すべきモデルであった。</p> <p>今年度の講義では、「西洋」を全体としてとらえる視点を重視しながら、前期は「西洋文化」の特質について、一般の日本人にはなじみの薄いであろう側面に焦点を当てながら概説する。後期は、世界史の中での「西洋」の位置について検討するとともに、EUの統合が進展する現代のヨーロッパの直面する諸課題についてもとりあげる。</p> <p>近代の日本人の西洋への無批判的な憧憬を解体し、西洋を冷静に見直すきっかけとなる講義にしたいと考えている。</p>		<p>[講義計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 西洋文化史の課題と射程 2. 西洋文化の伝統と近代 3. 西洋の統一性と多様性 4. 西洋の自己規定 <p>(第1回目の講義で、より詳細な講義計画を示す)</p>		
<p>[成績評価の方法]</p> <p>何回かのレポートと学年末の試験による。</p>		<p>[参考文献]</p> <p>授業中に指示する。</p>		
<p>[教科書]</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
西洋思想史		通 期	4 単位	山川 偉也
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>「哲学の根本問題＝時間」と題して、西欧思想史上の10人の哲学者たち、パルメニデス、ゼノン、プラトン、アリストテレス、アウグステイヌス、デカルト、カント、ベルクソン、ウイトゲンシュタイン、ハイデッガーを取り上げる。</p>		<p>[講義計画]</p> <p>前期はギリシアの哲学者たち、後期はそれ以後現代までにあてる。</p>		
<p>[成績評価の方法]</p> <p>出席態度と前・後期試験の結果を総合的に判断して評価する。</p>		<p>[参考文献]</p> <p>後期については適当な参考書の類がないので、必要な資料を用意することにする。</p>		
<p>[教科書]</p> <p>山川偉也『古代ギリシアの思想』講談社学術文庫（パルメニデスからアリストテレスまで）</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
キリスト教史		通 期	4 単位	伊 藤 高 章
【講義概要・学習目標】 <p>ヨーロッパ宗教改革に対するカトリック側の反宗教改革運動の中で成立したイエズス会、及びイエズス会士フランシスコ・ザビエルの活動を手がかりに、近世のキリスト教の歴史を広く学ぶ。またこの時代の西ヨーロッパの国際関係、海外貿易、帝国主義的な進出にも言及し、教会の側からみた教会の歴史ではなく、人類の歴史におけるキリスト教の動きに注目する。</p> <p>キリスト教とアジア文化、特に日本の文化との接触の問題もとりあげる。</p>	【講義計画】			
【成績評価の方法】 <p>前期提出のブックレポート 2～3本 夏期休暇中に作成する小論文 後期授業における研究発表</p>	【参考文献】 <p>『聖フランシスコ・デ・ザビエル書翰抄』 上・下巻、 (岩波文庫 青 818-1・2)</p>			
【教科書】 <p>フィリップ・レクリヴァン『イエズス会』（「知の再発見」双書 53） 創元社 1996 年 遠藤周作『沈黙』</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
科学思想史		通期	4 単位	松永 俊男
【講義概要・学習目標】 <p>科学とキリスト教の関係について講義する。</p> <p>17世紀に成立した西洋近代科学は、神に由来する自然の秩序を見いだすことを目的にしていた。科学研究はキリスト教に奉仕するものだった。ところが、19世紀に科学と宗教の調和が崩れ、科学は宗教から分離していった。</p> <p>講義では、ガリレオ、ニュートン、あるいはダーウィンらの科学がキリスト教信仰と結びついていたことを明らかにし、それにもかかわらず、なぜ科学と宗教が対立すると思われるのかについて考察する。</p>	【講義計画】 前期 1. 宇宙観の変遷 2. コペルニクスの信仰と科学 3. ガリレオの信仰と科学 4. ニュートンの信仰と科学 5. イギリス自然神学の成立 後期 1. ビクトリア朝の信仰と科学 2. 化石の変遷の解釈と教会 3. 進化論とキリスト教 4. 科学と宗教の闘争史観の成立 5. 科学と宗教の闘争史観の否定			
【成績評価の方法】 <p>原則として、毎回の授業の最後に小テストを実施する。これが一定の水準に達しなければ、出席率が良くても不合格とする。</p>	【参考文献】 <p>松永俊男（著）『ダーウィンの時代－科学と宗教』（名古屋大学出版会）</p>			
【教科書】				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ヨーロッパ文化研究（ドイツ文化）		通 期	4 単位	高 田 里 恵 子
【講義概要・学習目標】 1900年前後、ドイツ（当時ドイツ帝国）では、学校をテーマにした劇作品や小説が大流行する。この講義では、そうした学校物語の構造と背景を探ってゆく。また、当時はじめて登場した思春期というもの、また世紀末の性の言説などが、学校物語という枠組みのなかでどのように扱われているかを見る。邦訳されている作品（たとえばヘッセの『車輪の下』）や、映画化されたものも多いので、映像ソフトなども使用する予定である。	【講義計画】 1. 学校物語の歴史と背景 2. 学校物語の構造 3. 思春期の描き方 4. 性の問題 5. 学校における同性間の友情 6. 近代日本とドイツの学校物語			
【成績評価の方法】 夏休み終了後にレポート提出。 後期は試験を行う。	【参考文献】 授業中に指示する。			
【教科書】 教科書は使用しない。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ヨーロッパ文化研究（ロシア文化）		通 期	4 単位	国 松 夏 紀
【講義概要・学習目標】 ユーラシア大陸の北方に偏ってヨーロッパからアジアに広がるロシアは、感覚的には中国とEU諸国の間に孤立してイメージされている。我々は、古来中国との縁が深いし、近來は欧米との交渉密である。ロシアは、その間に落ち込むようにして、また「崩壊後」の「混乱」もあって、判り難さを増大させている。 本講は、このようなイメージ（偏見）を検証しつつ、本来あるがままの或いはあるべきロシアとその文化を把握することを目標とする。そのために、例外的にロシアと深い関わりを持った3人の日本人をとりあげることにする。 大黒屋光太夫：伊勢の漂流民、ロシアからの最初の帰還者 山下りん：最初期のロシア留学生、女性イコン画家 二葉亭四迷：ロシア文学による日本近代文学の創始者 いささか迂遠な方法のように見えるかもしれないが、彼らの事績・仕事を通して浮かび上がってくる「ロシア」は、我々のロシア理解の基盤をなしているからである。	【講義計画】 <前期> I. 日露交渉史概説 II. 大黒屋光太夫と18世紀ロシア III. 『北槎聞略』を読む IV. 山下りんの19世紀ロシア体験 <後期> V. ロシア正教とイコン VI. 二葉亭四迷のパラドクス VII. 「後進」ロシアの「先進」文学 * 前期・後期ともに、各項につき3～4講の予定。ただし、講義の流れに応じて、若干の計画変更はあり得る。			
【成績評価の方法】 学年末レポートにより評価します。1回きりですので、力作を期待。ただし、講義の区切れ目ごとに確認のためもあり「感想文」を提出。これも評価の対象とします。	【参考文献】 桂川甫周著・亀井高孝校訂『北槎聞略 大黒屋光太夫ロシア漂流記』（岩波文庫、1990年） 鍋木道剛監修、北海道立函館美術館・豊橋市立美術館・千葉市立美術館・足利市立美術館編『山下りんとその時代展』（読売新聞社・美術館連絡協議会刊、1998年） 桶谷秀昭著『二葉亭四迷と明治日本』（文藝春秋、1986年） その他、授業中に、随時指示します。			
【教科書】 特に定めません。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
アメリカ文化研究 (旧アメリカ文化研究Ⅱ)		通 期	4 単位	谷 本 泰 三
【講義概要・学習目標】 何もないように見えていた新大陸にヨーロッパから移民たちが渡った時から、せいぜい300年くらいにヨーロッパ諸国に伍して世界をリードする超大国を作り上げたアメリカ人は一体何なのか。アメリカ人はどのようにしてアメリカ人になったのか。そのエネルギーの本質はどのようなものなのか。アメリカには文化というにふさわしいものがあるのか。このような問題を考えながらHenry B. Parkesの著書を読み、これを補足し、批判し、さらに解説を加えながら講義を進める。	【講義計画】 1-6 アメリカ革命と独立 7-12 西部開拓 13-23 宗教：アメリカ文化の根底 24 まとめ			
【成績評価の方法】 期末試験2回	【参考文献】			
【教科書】 Henry B. Parkes著 The American Experience (研究社出版) 谷本泰三 著 「講義アウトライン (学習ヒント付き)」				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
インドネシア語		通 期	4 単位	北 野 正 徳
【講義概要・学習目標】 この講義では、基本的なインドネシア語を学ぶことを目標としている。インドネシア語それ自体についての紹介から始まり、単語の表記と発音、基本的な語法と文法などへ進んでゆきたい。これらの項目を練習することを通じて、簡単な会話と作文ができるようになることが、この講義の最終的な目的である。また、授業では、インドネシア語が実際にどのように使われ・理解されているかをより良く知るために、インドネシアの社会や文化についてもコメントを加えてゆきたい。	【講義計画】 1 インドネシア語の紹介 2 表記と発音 3 基本的な語法・文法 4 発音・会話・作文の練習 5 インドネシア語での簡単なコミュニケーション			
【成績評価の方法】 基本的に平常評価による。ただし、各学期末頃に、授業時間を使って、その学期に学んだ事柄の確認・復習として、書き取りや聞き取りを行うことも考えている。	【参考文献】			
【教科書】 柴田紀男 『エクスプレス インドネシア語』 白水社				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
西洋文学史 イタリア・中世・ルネサンス時代の散文の展開 --ノヴェッラの歴史を中心に--		通 期	4 単位	米 山 喜 晟
【講義概要・学習目標】 この講義の目標はかなり欲張っていて、まずヨーロッパ中世文学の様々なジャンルをひとわたり眺めて、イタリア文学の全盛期が出現するまでの状況を簡単に眺めた後、イタリアの中世とルネサンス期の文学を概観する。さらにその中でも特に発達したノヴェッラというジャンルに焦点をあてて、その様々な変化を簡単に追跡しておきたい。	【講義計画】 [前期] イタリアで文学が発達したのは意外に遅いが、ダンテ等の出現であっという間に、トップに立つ。それ以前の状況、首位に立つまでの過程をたどりながら、その条件などを考える。 [後期] ヨーロッパでトップの地位についてイタリア文学の中で、その散文の主要な部分を占めるイタリア・ノヴェッラの展開をたどり、その発展過程について考える。			
【成績評価の方法】 出席点とレポートと期末試験の総合評価。	【参考文献】 米山・鳥居共著 『イタリア・ノヴェッラの森』（非売品）			
【教科書】 適当にプリントを用意する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本語文法・文体論		通 期	4 単位	有 川 康 二
【講義概要・学習目標】 外国語学習に「おかしい」文はつきものである。（*：おかしい文。） a.*困ったらいつでも私へ来なさい。 b.*私が京都で撮ったの写真 c.*私の父は山田先生を知ります。 d.*先生、私の推薦状はもうお書きになったんですか。（このままでは失礼） 何故おかしいのか。だが、彼らには彼らなりの論理がある。(a)は"come to me"と言うから。(b)は中国語では「我在京都照像的照片」で、「的」という日本語の「の」にあたるものがあるから。(c)は"know"＝「知る」だから。(d)は尊敬語を使用しているから問題ないはず。教科書として使用する『日本語の文法』には日本語のきまりと仕組みを探るためのおよそ百題の問いが用意してある。それらの中からポイントとなる問題を解いていく。	【講義計画】 <前期> 1. 日本語のきまりと仕組み、2. 文の構成要素とその種類分け、3. 「こと」の類型（述語の種類とその補語との結びつき）、4. 「主語」「主格」「主題」、5. 述語の活用、6. テンス・アスペクト、7. 態（ヴォイス一格と動詞の形との相関）、8. 心的態度（ムード）の表現 <後期> 10. 複文の種類、11. 並列的接続、12. 理由・原因、13. 時の特定、14. 条件の表現、15. 連体修飾			
【成績評価の方法】 出席・筆記試験	【参考文献】 寺村秀夫（著）『日本語のシンタクスと意味Ⅰ』（くろしお出版） 寺村秀夫（著）『日本語のシンタクスと意味Ⅱ』（くろしお出版） 寺村秀夫（著）『日本語のシンタクスと意味Ⅲ』（くろしお出版）			
【教科書】 寺村秀夫（著）『日本語の文法（上）』（国立国語研究所（日本語教育指導参考書4）） 寺村秀夫（著）『日本語の文法（下）』（国立国語研究所（日本語教育指導参考書5））				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者																
語彙・意味論		前 期	2 単位	藤 原 健																
【講義概要・学習目標】 <p>ことばによる表現が、単語を一定の文法規則に従って文の形にまとめ上げることであるとすれば、表現にはいくつかの単語が使われていると考えるのが普通であろう。私たちが使っている日本語も、数多くの単語を意味伝達的手段として、それを文や文章、談話の形にまとめ上げているのである。「語彙」とは、このような文章や談話を形成するための要素として用いられる単語の集まりのことであり、言語にとって文法と同等に重要な要素である。</p> <p>この講義では、日常的な平易な用例をもとに、日本語の語彙の意味や構成を分類し、普段使っている日本語の語彙について、いろいろな面から考えてみたい。</p>	【講義計画】 <table border="0"> <tr> <td>1. 単語と語彙</td> <td>3. 語の種類</td> </tr> <tr> <td>1) 単語とは</td> <td>4. 語構成と造語法</td> </tr> <tr> <td>2) 語彙とは</td> <td>1) 語の構成成分</td> </tr> <tr> <td>3) 語形</td> <td>2) 造語法</td> </tr> <tr> <td>2. 語の教</td> <td>3) 造語に伴う音声変化</td> </tr> <tr> <td>1) 基礎語彙と基本語彙</td> <td>5. 語の意味</td> </tr> <tr> <td>2) 使用語彙と理解語彙</td> <td>6. 意味に関する問題点</td> </tr> <tr> <td>3) 語数とカバー率</td> <td>7. 語彙教育のポイント</td> </tr> </table>				1. 単語と語彙	3. 語の種類	1) 単語とは	4. 語構成と造語法	2) 語彙とは	1) 語の構成成分	3) 語形	2) 造語法	2. 語の教	3) 造語に伴う音声変化	1) 基礎語彙と基本語彙	5. 語の意味	2) 使用語彙と理解語彙	6. 意味に関する問題点	3) 語数とカバー率	7. 語彙教育のポイント
1. 単語と語彙	3. 語の種類																			
1) 単語とは	4. 語構成と造語法																			
2) 語彙とは	1) 語の構成成分																			
3) 語形	2) 造語法																			
2. 語の教	3) 造語に伴う音声変化																			
1) 基礎語彙と基本語彙	5. 語の意味																			
2) 使用語彙と理解語彙	6. 意味に関する問題点																			
3) 語数とカバー率	7. 語彙教育のポイント																			
【成績評価の方法】 <p>定期試験（半期科目であるので、前期1回）により評価する。 詳しくは、授業初回到説明する。</p>	【参考文献】 <p>浅野百合子（著）『教師用日本語教育ハンドブック⑥語彙』（国際交流基金／凡人社）</p>																			
【教科書】 <p>森田良行・村木新次郎・相沢正夫（編）『ケーススタディ・日本語の語彙』（おうふう）</p>																				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者									
文字・表記論		後 期	2 単位	藤 原 健									
【講義概要・学習目標】 <p>言語は、音声を媒体とした音声言語と、文字を媒体とした文字言語とに大別できる。この講義では、これらのうち後者の媒体となっている文字について、日本語の場合を扱う。</p> <p>日本語の表記に用いられる文字は数も種類も多く、また使いかたが複雑である。外国人の日本語学習者にとって、日本語の文字・表記は習得が大変で、ネックになることが多い。この講義では、日本語教育の立場から、実践の場で教師に求められる文字・表記に関する知識と、指導する際に注意しなければならない点などを考えていきたい。</p> <p>1年次に「論述作文」を履修した人も多いと思うが、日本語を「表記する」という点から見つめ直すいい機会になればと思う。学部・専攻に関係なく、日本語に興味・関心のある人の受講を歓迎する。</p>	【講義計画】 <table border="0"> <tr> <td>1. 日本語の表記法と基準</td> </tr> <tr> <td>1) 漢字の表記法（「常用漢字表」）</td> </tr> <tr> <td>2) 平仮名の表記法（「(改定)現代仮名遣い」）</td> </tr> <tr> <td>3) 片仮名の表記法（「外来語の表記」）</td> </tr> <tr> <td>4) 送り仮名の付け形</td> </tr> <tr> <td>5) ローマ字の種類と表記法</td> </tr> <tr> <td>2. 文字に関する知識</td> </tr> <tr> <td>1) 漢字（の成り立ち） （六書、部首、画数、字形等）</td> </tr> <tr> <td>2) 仮名（の成り立ち） （真名、平仮名、片仮名等）</td> </tr> </table>				1. 日本語の表記法と基準	1) 漢字の表記法（「常用漢字表」）	2) 平仮名の表記法（「(改定)現代仮名遣い」）	3) 片仮名の表記法（「外来語の表記」）	4) 送り仮名の付け形	5) ローマ字の種類と表記法	2. 文字に関する知識	1) 漢字（の成り立ち） （六書、部首、画数、字形等）	2) 仮名（の成り立ち） （真名、平仮名、片仮名等）
1. 日本語の表記法と基準													
1) 漢字の表記法（「常用漢字表」）													
2) 平仮名の表記法（「(改定)現代仮名遣い」）													
3) 片仮名の表記法（「外来語の表記」）													
4) 送り仮名の付け形													
5) ローマ字の種類と表記法													
2. 文字に関する知識													
1) 漢字（の成り立ち） （六書、部首、画数、字形等）													
2) 仮名（の成り立ち） （真名、平仮名、片仮名等）													
【成績評価の方法】 <p>定期試験（半期科目であるので、後期1回）により評価する。 詳しくは、授業初回到説明する。</p>	【参考文献】 <p>国立国語研究所（編）『日本語教育指導参考書14 文字・表記の教育』（大蔵省印刷局）</p>												
【教科書】 <p>富田隆行・眞田和子（共著）『教師用日本語教育ハンドブック⑩新・表記』（国際交流基金／凡人社）</p>													

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本語教授法Ⅰ		通 期	4 単位	有 川 康 二
【講義概要・学習目標】 どんな教授法（教え方の哲学や方法）にも、どんな教科書にも長所と短所がある。要は様々な教授法や教科書の長所をなるべく多く利用することである。ここでは、日本語の初級文法に焦点を絞り、（教師にとっての）実践的な文法整理と（学習者にとって）効果的なドリルの紹介やシミュレーションを行う。一定の制限された状況（＝教室内）や時間内（初級の集中コースとして例えば、週15時間の約6か月）に日本語を母語としない人に日本語文法全体の基礎的な体系を順序よく説得的に説明し、効果的に練習を行い「使える日本語」を身につけてもらうためには、教える側に特別な知識と技術が必要となる。さらに「何故、外国語を学ぶのか、何故、日本語を外国語として教えるのか」といった日本語教育哲学に通ずるような問題意識も持ち続けてほしい。	【講義計画】 <前期> 1. こそあど、2. い形容詞・な形容詞、3. 存在、4. 時制、5. ～て、～で、6. ～ている、7. 希望・願望、8. 提案・申し出・勧誘、9. 可能形、10. 経験、11. 意志、12. 許可・禁止 <後期> 13. 様態、14. 推量（ようだ・らしい）、15. 理由・原因、16. 逆接、17. ～ている・～てある・～ておく、19. 授受動詞、20/21. 受身・使役・使役受身、22. 条件			
【成績評価の方法】 出席・筆記試験	【参考文献】 三浦昭『初級ドリルの作り方』（凡人社）			
【教科書】 東京YMCA日本語学校（編）『入門日本語教授法』（創拓社）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本語教授法Ⅱ	01	前 期	2 単位	友 沢 昭 江
【講義概要・学習目標】 日本語学習者の多様化にそって、多くの教材が開発されています。実際の教育に携わる者は、学習者の学習目標や言語背景を考慮に入れ、最も効果的な成果をあげるために最適な教材を選択する眼を持たなければなりません。さらには、市販の教科書や教材ではまかないきれない部分を補充するための自主作成教材を臨機応変に作成する能力も必要とされます。本講では、市販されている教科書を分析するとともに、自らも教材を作成します。授業は、前半は講義形式で行い、後半はグループに分かれて自分達想定する学習者を対象とした教材開発を行います。	【講義計画】 前半は、様々な市販の教材の構成を研究します。後半はグループで教材を作成します（基本プランの確定、分担の決定、作業の進捗状況の報告、作成教材を提示し、クラスで評価を行います）。			
【成績評価の方法】 講義内容に関する小テストを数回行います。後半のグループ作業の途中経過の報告、最終的な教材の提示、クラスでの評価を総合して全体の評価を行います。半期（13回）の授業なので、基本的に全回出席した人を評価の対象とします。	【参考文献】 『初級ドリルの作り方』（三浦昭、凡人社） 『教え方の基本』（日本語教育演習シリーズ⑤、丸山敬介、凡人社） 『日本語教師をめざす人の日本語教授法入門』（石橋玲子、凡人社）			
【教科書】 特に指定しません。（教員により配付されるプリント等を使用します。）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本語教授法Ⅱ	02	後 期	2 単位	友 沢 昭 江
【講義概要・学習目標】 日本語学習者の多様化にそって、多くの教材が開発されています。実際の教育に携わる者は、学習者の学習目標や言語背景を考慮に入れ、最も効果的な成果をあげるために最適な教材を選択する眼を持たなければなりません。さらには、市販の教科書や教材ではまかないきれない部分を補充するための自主作成教材を臨機応変に作成する能力も必要とされます。 本講では、市販されている教科書を分析するとともに、自らも教材を作成します。授業は、前半は講義形式で行い、後半はグループに分かれて自分達想定する学習者を対象とした教材開発を行います。	【講義計画】 前半は、様々な市販の教材の構成を研究します。後半はグループで教材を作成します（基本プランの確定、分担の決定、作業の進捗状況の報告、作成教材を提示し、クラスで評価を行います）。			
【成績評価の方法】 講義内容に関する小テストを数回行います。後半のグループ作業の途中経過の報告、最終的な教材の提示、クラスでの評価を総合して全体の評価を行います。半期（13回）の授業なので、基本的に全回出席した人を評価の対象とします。	【参考文献】 『初級ドリルの作り方』（三浦昭、凡人社） 『教え方の基本』（日本語教育演習シリーズ⑤、丸山敬介、凡人社） 『日本語教師をめざす人の日本語教授法入門』（石橋玲子、凡人社）			
【教科書】 特に指定しません。（教員により配付されるプリント等を使用します。）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本語教授法Ⅲ		通 期	2 単位	友 沢 昭 江
【講義概要・学習目標】 本講では日本語学および日本語教授法関連の授業を受講した後、その知識や経験を総合して、実際の教育の場面で学習者とのようなインターアクションを行うかという、実践力の養成を目的とします。知識として獲得したことをいかに効果的に提示し、学習者のもつ多様なニーズや問題をどのように処理するかを、実際の授業形態の中で学びます。そのため、原則として日本語教授法Ⅰおよび日本語教授法Ⅱを終了した人へのみ受講を認めます。	【講義計画】 <ul style="list-style-type: none"> 様々な教授法をビデオによるモデル授業を見ること等を通して比較検討します。 グループに分かれて、基本的な教授内容をいかに実際の教育現場で教えるかを研究し、発表します。 グループ単位で、実際の授業を組み立て、模擬授業として発表します（2回）。 留学生とチームを組んで、共同プロジェクトを行います。 実際の日本語授業を見学したり、夏期休暇中には学外(国内・海外)での教育実習(希望者)を行います。 			
【成績評価の方法】 <ul style="list-style-type: none"> 学期初めにノートを作り、毎回の授業の内容をまとめる外、適宜出される課題もそこに書き込み、一月に一回程度の割合でノートを提出してもらい、それを出欠を含む、授業への貢献度の材料として判断します。 グループ単位で行う作業は、学生間の相互評価を行います。（各自が評価表に書き込み、それをクラスで閲覧して、フィードバックとします。） 	【参考文献】 『日本語教育論集』（吉田彌壽夫監修、学研） 『概説日本語教育』（遠藤織枝編、三修社） 『日本語教授法』（石田敏子、大修館書店） 『実践日本語教授法』（名柄迪監修、中西家栄子他、バベルブックス） 『外国語教育理論の史的発展と日本語教育』（名柄迪他、アルク） 『日本語教育への道』（土岐哲他、凡人社）			
【教科書】 教員の用意する配付物を使います。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本事情研究Ⅰ		通 期	4 単位	原 田 達
【講義概要・学習目標】 現代日本のさまざまな社会的トピックスを素材にして、現代日本の基本構造に迫りたい。 話題として利用されるのは、日常的な事件・出来事・有名人・無名人など。 講義の基本的目標は、日本に留学してきた留学生に、現代日本社会の特徴を紹介し、その社会的・歴史的・文化的意味を知ってもらいたいことにある。主要な履修学生を留学生に設定しているため、日本人の学生さんには、当たり前とか、物足りないとか感じるかもしれない。	【講義計画】 まず、最近の日本社会の「話題の人」を取りあげて、彼らの社会的・歴史的・文化的意味について考えたい。取りあげようと思っているのは、たとえば松たか子、柳川喜郎、キティ、ゴジラ、寅さん、などなど。 とはいえ、ここで芸能裏情報を話すつもりはないし、ほかにそれはできない。ほかができることは、かれらの社会的・文化的意味の解説だ。松たか子が藤原紀香に勝てるかは判らないけれど、松たか子の生まれ育った社会の解説ならできる。 また、出来事としては、たとえば東海村の臨界事故を取りあげたい。あの事故は、ある意味では「戦後社会」の終焉であった。それはなぜか？			
【成績評価の方法】 試験をします。思いついたようにレポートを課します。	【参考文献】 その都度指示します。			
【教科書】 ありません。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本事情研究Ⅱ		通 期	4 単位	岡 村 清 人
【講義概要・学習目標】 日本が、近年飛躍的な発展を遂げている背景に、優れた工業材料の開発がいかに深いかかわりを持っているかについて講義を行う。第二次世界大戦後50年、日本の産業発展に大いに寄与している鉄鋼材料、そして、今日の半導体材料、セラミックス材料や複合材料などの先進材料が、今後の日本および世界の発展にいかに関係しつづけるかについて説明する。さらにこのような発展をもたらしている根源についても追求する。 次に、発展に伴って、生活が豊かになり、リスクを負う状況にもなる。例えば産業廃棄物による環境破壊などである。従って経済発展、資源・エネルギーの確保、地球環境保全のトリレンマの克服が今後の重要な課題である。これらの課題について言及する。	【講義計画】 〈前期〉 工業材料の発展の柱になっている鉄鋼材料の具体的な説明を行い、それらの明治、大正、昭和、平成における発展の過程、社会への寄与、そして21世紀における創造的発展の可能性について、日本の教育体制などと関連させて講義を行う。 〈後期〉 今日の先進材料と呼ばれている半導体材料、セラミックス材料、複合材料などが、工業材料として日本で大いに発展している事情について講義を行う。そして、これらの工業材料の専心的開発が日本の将来の発展にいかなる影響を与えるかについて予測する。またそれらに伴うリスクについても言及する。			
【成績評価の方法】 レポートを主とし、出席など総合的に考慮して評価する。	【参考文献】 ・大石 嘉一郎（編）『日本産業革命の研究 上・下』（東京大学出版会） ・堂丸 昌男・山本 良一（編）久松 敬弘 他共著 『未来社会と材料工学』（東京大学出版会） ・H.W.ルイス（著） 宮永 一郎（訳）『科学技術のリスク』（昭天堂） ・村上 陽一郎（著） 『文明のなかの科学』（青土社） ・成定 薫（著）『科学と社会のインターフェイス』（平凡社自然書庫24）			
【教科書】 村上陽一郎（著）『科学・技術と社会』（光村教育図書） 1,600円				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
経済学基礎理論A	01	通期	4単位	荒木英一
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>いくつかのテーマをとりあげて、経済学の専門用語と基本的な考え方を学習していく。テキストにはいくぶん高度な内容も含まれるが、経済白書や日々の経済記事を理解する為には、この種の入門書をマスターしておくことが近道だろう。</p>	<p>[講義計画]</p> <p>前期： 国民所得統計 GNPの決定 資産市場 IS/LMモデル</p> <p>後期： オープン・エコノミー 失業とインフレーション 消費・貯蓄と投資 景気循環と経済成長</p>			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>授業中の小テストと出席点、学年末試験で総合評価する。</p>	<p>[参考文献]</p> <p>適宜に指示する。</p>			
<p>[教科書]</p> <p>『(現代経済学入門) マクロ経済学』吉川洋 著、岩波書店</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
経済学基礎理論A	02	通期	4単位	西川 憲二
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>日常生活の中で、私達は日々いろいろな選択し決定をしている。この際に「お金」が大きな決定要因になっていることが少なくない。このことは、私たちが「経済学」に取り込まれていることを意味している。言い換えると、経済学とは、我々の選択を経済的側面から解き明かしていく学問である。そればかりではなく、経済学は、企業や国家の選択や行動を説明する。そこで、経済学から、個人・企業・国家を眺めることによって、私たちの生活と社会がどのように機能しているのか、これからの日本経済はどうなっていくのか考えてみたいと思う。</p>	<p>[講義計画]</p> <p>日本経済と世界経済の現状 マクロ経済学 貿易と為替レート ミクロ経済学</p>			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>出席、小テスト。</p>	<p>[参考文献]</p>			
<p>[教科書]</p> <p>なし</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
経済学基礎理論 A	03	通期	4単位	望月和彦
<p>〔講義概要・学習目標〕 「最初の近代天文学者は、ケプラーやガリレオではなく、16世紀のティコ・ブラーエである。初めて星の動きを体系的に観察し、記録した。だが彼は、膨大な事実を集めたが、解釈を間違っていた。偉大な観察者であり、才能ある分析者だったが、自らの観察によってその間違いが明らかになった理論に固執した。弟子のケプラーが新しい理論を発見するには、その後30年かかった。 新しい事実が古い間違った理論で説明されている限り、天体運行の予測は、知識も資料もなかった頃の、したがってきわめて控えめだった先人の予測と比べてさえ、当てにならないものにとどまっていた。間違った理解にもとづく正確性ほど、もっともらしく、そのくせ危険なものはない。」 (P・ドラッカー 『断絶の時代』) このドラッカーの言葉は、そっくりそのまま現在の経済学に当てはまる。混迷を極める現在の日本経済・社会において、経済理論がいかなる貢献ができるのか、すべての経済学者が問われているといつてよい。ややもすれば、現代の経済学は、国民の福祉のためではなく、政治家や官僚の利権拡大のための理論武装の用具になり果てようとしている。 本講はこれから経済学を学ぼうとする学生への近代経済学入門講義であるが、単に理論の紹介にとどまらず、今日の経済学の限界についても触れていきたいと思っている。政治家、官僚、マスコミにだまされないためにも経済学を習得することは是非必要である。講義計画として過年度のものを掲げているが、変更される可能性もあるということをご承知願いたい。今年度の講義計画は最初の講義時に配布する。</p>	<p>〔講義計画〕 【前期】 1. 経済学とはどんな学問か 2. マクロ経済学とは 3. 国民所得の意味 4. 国民所得決定モデル 5. 乗数理論 6. 拡張された国民所得決定モデル 7. 投資の理論～財市場の均衡～IS曲線 8. 貨幣の理論～貨幣市場の均衡～LM曲線 9. 財市場・貨幣市場の同時均衡 IS-LM分析 【後期】 10. 総需要・総供給関数の導入 インフレと不況 11. 財政政策・金融政策の有効性 12. ミクロ経済学とは 13. 需要と供給の世界～市場均衡 14. 需要と供給の世界の応用～課税と補助金 15. 独占の理論 16. 経済学の考え方</p>			
<p>〔成績評価の方法〕 年4回の試験（特に最後の学年末試験を受けなければ単位は認定しない）およびレポート提出状況で決定される。</p>	<p>〔参考文献〕 伊藤元重 『入門経済学』 日本評論社 正村宏宏 『経済学入門』 筑摩書房 N・G・マンキュー 足立他訳 『マクロ経済学Ⅰ』 東洋経済新報社 J・スティグリッツ 藪下ほか訳 『入門経済学』『マクロ経済学』『ミクロ経済学』 いずれも東洋経済新報社 岩田規久男 『経済学を学ぶ』 ちくま新書 金森久雄ほか編 『有斐閣 経済学事典』 第三版 有斐閣</p>			
<p>〔教科書〕 指定しない。その都度、プリントを配布する。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
経済学基礎理論 A	04	通期	4	矢根 真二
<p>〔講義概要・学習目標〕 経済活動はきわめて身近な現象です。自動販売機でウーロン茶を買うといった行為も、経済学の分析対象です。ウーロン茶の満足感が投入したコインの費用を上回るの、買っちゃおうというわけです。本学に入学したのも講義をさぼるのも、デートに出かけるのもアルバイトに精を出すのも、同じように分析できます。 講義の基本的な目標は、現実の複雑で多様な現象を簡単な1つの見方で捉えていくこととする現代経済学の基本的な考え方を修得することです。実際、この抽象的な考え方を自在に操れるようになれば、ドラッグの密売や売春から環境汚染や少子化問題に至るまで、参考文献に掲げたノーベル賞経済学者のノース教授やベッカー教授のようにスイスイ理解できるようになるでしょう。また、バーンスタインの物語に出てくるように、保険や年金から株式先物やデリバティブといった金融商品がいかにこの考え方と関連しているかも分かるでしょう。 ただ、1つの見方でウーロン茶の販売量から株式のポートフォリオまで予測するわけですから、この抽象的な見方は数字を使ったモデルという形で表現されるのが普通です。もはや文系に数学は不要というのは時代遅れの考え方なのです。こうした分析道具はすべて講義で解説しますが、抽象的な考え方が苦手な人や数学アレルギーの方は参考文献などで頭を柔軟にしておいて下さい。新しい考え方を身につけてやるうという積極的な受講者を歓迎します。</p>	<p>〔講義計画〕 大きな書店に行けば分かるように、現代の経済理論はミクロ経済学（経済原論ⅠA-1）とマクロ経済学（経済原論ⅠA-2）に分けられ、公務員などの各種試験の中心試験項目になっています。そこで基礎理論では、ミクロ経済学とマクロ経済学に共通する経済学の基本的な考え方と分析道具を学習します。現代経済学の基本的な考え方を大胆に要約すると、 ①複雑で多様な経済現象を理解するために、簡単な1つのモデル（モデル）で代用して考えることと、 ②「1企業⇒産業全体⇒日本全体⇒世界全体」といった多様な問題を理解するのに、各段階でのモデルを組み合わせて考えることです。 そこで、基礎理論の重点は、 ①あなたや私、つまり消費者や生産者といったすべての個人の行動を1つのモデルで眺めるとどうなるか？、ということ学習し、 ②こうした個人の行動の結果、ウーロン茶やアルバイト全体、つまり市場がどのように動くかということも1つのモデルにして学習することです。 この2つのモデルは長い時間をかけて洗練されてきたエコノミストの最強の道具ですが、最近では単独競争や広告競争のようなライバルとのかけひきを考えるモデルやギャンブルから保険に至る不確実な将来への対応を考えるモデルなど次々に新しい道具が開発されています。時間が許せば、こうした新しいフアッションについても学んでいく予定です。</p>			
<p>〔成績評価の方法〕 試験の合計点が6割以上を合格とする予定。</p>	<p>〔参考文献〕 ●学習する主な概念を使ってドラッグや環境汚染などを分析した入門書として ・ノース・他『経済学で現代社会を読む』日本経済新聞社 ●同じく結婚や教育といった身近な事例を分析した最近のコラム集として ・ベッカー『ベッカー教授の経済学ではこう考える～教育・結婚から税金通貨問題まで』東洋経済新報社 ●古代から今日のデリバティブに関わる意思決定法の読みやすい物語として ・バーンスタイン『リスク』日本経済新聞社 ●数学が苦手だったりアレルギーのある方へのやさしい入門書として ・ドウリング『例題で学ぶ：入門・経済数学』シーエービー出版</p>			
<p>〔教科書〕 ●講義で学習する主要な概念の分かりやすい説明として ・マンキュー『経済学Ⅰ ミクロ篇』東洋経済新報社</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
経済学基礎理論 B	0 1	通 期	4 単位	大 澤 健
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>私たちが現在暮らしている社会は「市場経済」とか「資本主義社会」と言われています。そんな中で、私たちは「商品」、「貨幣」、「資本」という言葉を暮らしの中でよく耳にし、日常的な用語として使っています。それにも関わらず、その言葉の意味を改めて説明してみると言われると結構難しいものです。まして、それらが相互にどのように関係しあい、どのように運動するのとなるとますます難しい問題になります。この講義では、このような基本的な経済学用語の意味を改めて考えながら、現在の経済社会の基本的なメカニズムと、特徴を明らかにしていきたいと考えています。</p>		<p>[講義計画]</p> <p>【前期】 1・商品－市場の意味、市場経済の特徴 2・貨幣－市場をつなぐ媒介者 貨幣の機能、通貨システム</p> <p>【後期】 3・資本－資本とは何か 生産過程と資本主義 資本主義社会の諸特徴</p>		
<p>[成績評価の方法]</p> <p>原則として試験の点数によるが、いくつかの加点要素（レポート等）を設ける。詳しい内容については、講義の初回に説明する。</p>		<p>[参考文献]</p> <p>カール・マルクス著『資本論』（新日本出版社）</p>		
<p>[教科書]</p> <p>テキストは2000年中に出版される予定。後期に指示します。それまでは、講義ノートを十分に整えてください。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
経済学基礎理論 B	0 2	通 期	4 単位	松 尾 純
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>この講義は、資本主義市場経済の最も基礎的な仕組みと概念を理解してもらうことを目的とします。資本主義経済の基礎的仕組み・概念を理解するためには、これをたんに「経済的に」見るだけでは十分ではありません。この経済社会を成り立たせている政治的・社会的・制度的な諸側面をも含む全体を分析しなければなりません。そのため、本講義では、経済学の歴史（重商主義、重農主義、古典派経済学、限界革命によって成立した新古典派経済学、ケインズ経済学等）と経済の歴史を概観します。これらを概観する中で、資本主義経済の政治的・社会的・制度的な諸側面をも含む包括的理解の仕方を身につけることが可能になるように配慮しつつ講義を進めていきます。なお、本講義は、直接的にはマルクス経済学（経済原論 I B）の基礎を解説することを目的としますが、上記講義内容から見て分かるように、その内容は、経済原論 I A の入門ないしは基礎理論ともなっています。</p>		<p>[講義計画]</p> <p>1. 経済学とは何か。なぜ経済学を学ぶのか。 2. 経済史の概観。経済学の歴史の概観。 1. 重商主義 2. 重農主義 3. アダム・スミスの経済学。 4. D.リカードの経済学 5. J・S・ミルの経済学 3. 経済学の基礎理論 6. 限界革命と新古典派経済学 7. ケインズ経済学 8. マルクス経済学 1. 商品と貨幣 2. 資本と剰余価値 3. 資本の蓄積</p>		
<p>[成績評価の方法]</p> <p>前期末と後期末の2回のテストを行う。成績評価は原則的にこれで行うが、成績不良者を救済するために、講義中に数回テストを行う予定。</p>		<p>[参考文献]</p>		
<p>[教科書]</p> <p>テキストは指定しない。できるだけ出席してしっかりノートを取ること。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ドイツ語 I a ドイツ語 I b	01 01	通 期 通 期	2 単位 2 単位	高 田 里 恵 子
【講義概要・学習目標】 <p>このクラスは、I a・I bの両方を高田が担当する。 語学の習得のためには、継続と努力が必要である。楽しい「会話」をするためには、まずは単語や文法を暗記しなくてはならない。この点については覚悟しておくこと。 一年間でドイツ語の文法を一通り学ぶというのが目標である。まずは基礎を作ろうというわけだ。予習の必要はないが、授業についていくためには復習は欠かせない。地道な努力が報われるような授業にしていきたい。</p>	【講義計画】 1. ドイツ語とはどのような言語か 2. 動詞の人称変化 3. 名詞と冠詞 4. 前置詞 5. さまざまな動詞と助動詞 6. 時制 7. 関係代名詞 8. 受動態 9. 接続法			
【成績評価の方法】 <p>前期と後期の最後に試験を行なう。また平常点も重視するが、それはたんに出席することではなく、授業に積極的に参加することを意味している。</p>	【参考文献】 <p>授業中に指示する。</p>			
【教科書】 矢羽々崇 飯田道子 なんとかしようドイツ語 (郁文堂) Kirsten Beisswenger				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ドイツ語 I a	02	通 期	2 単位	竹 田 和 子
【講義概要・学習目標】 <p>このクラスでは文法を学びます。教科書は、初めてドイツ語を学ぶ学生が「力をつける」にはどういう学習方法がいいのだろうかという点を意識して作られています。一つ一つの文の規則が分かりやすく説明されていて、理解しやすく、また基本的な練習を重ねることによって着実に理解を深めていける教科書です。ドイツ語を話し、理解するうえで最も重要で基本的な決まりを一年間で習得することを目標にします。 授業では、口頭練習をよく行ないますので、練習へは積極的に参加してください。また予習、復習は不可欠です。外国語の習得には、反復練習と暗記という地道な努力が必要です。しかしその成果は決して小さいものではありません。授業を通じて新しい言葉、ドイツ語の基礎を体得してください。</p>	【講義計画】 <前期> 動詞の基本変化、名詞と冠詞、冠詞類、名詞の複数形、人称代名詞、数詞、不規則動詞、従属文、前置詞、非人称、話法の助動詞命令形、 <後期> 形容詞、複合動詞動詞、再帰代名詞、zu不定詞、比較、動詞の3基本形、過去形、現在完了、受動、関係代名詞、接続法			
【成績評価の方法】 <p>前期と後期の終わりに試験を行なう。また平常点も考慮する。全体の成績評価は、aを担当する教師とbを担当する教師が相談し総合的に決定する。</p>	【参考文献】			
【教科書】 著者 : 西村佑子、Rudolf Petrik 書名 : ドイツ語なんてこわくない 発行所: 同学社				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ドイツ語 I b	02	通 期	2 単位	村 田 佳 隆
【講義概要・学習目標】 ドイツ語学習の土台をつくることがこの授業の目標である。発音の練習をまずタツプリとこなし、最低限の文法知識を学びながら、いろいろな文章にふれることによって、日常のドイツ語で用いられる基本的な表現や語彙を身につける。 毎回の出席と完全な準備、そしてなによりも授業中の緊張が要求される。	【講義計画】 1. 発音 2. 動詞の現在人称変化 3. 冠詞 4. 前置詞 5. 形容詞 6. 分離動詞 7. 助動詞 8. 再帰動詞 9. 過去・完了 10. zu不定詞 11. 関係代名詞 12. 受動			
【成績評価の方法】 前期と後期の終わりに試験を行う。また平常点も考慮する。全体の成績評価は、aを担当する教師とbを担当する教師が相談し、総合的に決定する。詳細はI a (初級文法)のクラスで毎年配布している「初級ドイツ語を学ぶ学生のために」というプリントを参照すること。	【参考文献】			
【教科書】 山本淳 『じゃあ、またあした!』 同学社				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ドイツ語 I a	03 05	通 期 通 期	2 単位 2 単位	田 中 秀 穂
【講義概要・学習目標】 初めてドイツ語を学ぶ学生を対象として、初級文法の講義と演習を行なう。アルファベットや発音から始めて、基本的な文法事項を習得して行く。 ドイツ語には、主語によって動詞の形が変わる「人称変化」や、名詞や冠詞などが文中での統語的役割によって変化する「格変化」、独特の語の並べ方など、さまざまな規則があり、覚えるべきことも少なくはない。しかし、積極的に授業に取り組み、反復練習を心がけ、文法を単なる知識として終わらせず、確実に身につけてもらいたい。	【講義計画】 0 アルファベット、発音 8 前置詞、再帰動詞 1 動詞の現在人称変化 9 形容詞の格変化 2 冠詞と名詞の格変化 10 比較、命令文 3 不規則動詞、副文 11 関係代名詞 4 定冠詞類と不定冠詞類 12 受動態 5 助動詞、人称代名詞 13 接続法 (非現実法) 6 分離動詞、z u不定詞句 14 接続法 (間接法) 7 過去形、現在完了形			
【成績評価の方法】 前期と後期の終わりに試験を行なう。また平常点も考慮する。全体の成績評価は、aを担当する教師とbを担当する教師が相談し総合的に決定する。詳細は、I a(初級文法)のクラスで毎年配布している「初級ドイツ語を学ぶ学生のために」というプリントを参照すること。	【参考文献】			
【教科書】 著者：大岩 信太郎 書名：新正書法による 快速ドイツ文法 (14課) 発行所：朝日出版社				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ドイツ語 I b	03	通 期	2単位	竹 田 和 子
【講義概要・学習目標】 この授業では、読む、聞く、話す、書くという言葉の四つの能力のうち、特に聞く、話すという能力に重点を置き、それらを通じて読む、書くという能力も身につけることを目標にします。教科書は、ドイツ留学中の聖子と、ホームステイ先の家族やドイツ語研修校の仲間達との会話をもとにごく日常的な場面での基本的な会話表現を練習しながら、ドイツ語の基礎能力が身に付けられるように作られています。 したがって授業への積極的参加と、予習、復習は不可欠です。外国語の習得には、反復練習と暗記という地道な努力が必要です。しかしその成果は決して小さくはありません。授業を通じて新しい言葉、ドイツ語の基礎を体得してください。	【講義計画】 <前期> 動詞の現在人称変化、名詞の性、不定冠詞、前置詞、語法の助動詞、分離動詞、否定冠詞、人称代名詞(1)、zu不定詞句、動詞の不規則変化、 <後期> 現在完了形、人称代名詞(2)、受動態、副文、過去形、比較、関係代名詞、再帰動詞、接続法			
【成績評価の方法】 前期と後期の終わりに試験を行なう。また平常点も考慮する。全体の成績評価は、aを担当する教師とbを担当する教師が相談し総合的に決定する。	【参考文献】			
【教科書】 著者 : 板山真由美、大澤たか子 書名 : 自己表現のためのドイツ語 発行所: 三修社				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ドイツ語 I a	04	通 期	2単位	山 崎 充 彦
【講義概要・学習目標】 外国語として英語を学び、おそらくは苦労してきたみなさんにとって、新しい外国語を学ぶ意味はどこにあるのでしょうか。 一つは、新しい外国語を通して、(つまりここではドイツ語を通して)今までは違う世界をみて欲しいと思います。また、英語と同じ語族に属するドイツ語を学ぶことで、英語の構造を理解することがより深くなるでしょう。 それから、何よりも、英語とは違う外国語を学ぶことで、物事を複数の側面から判断する能力を養っていただきたいと思っています。 日本語・英語以外のチャンネルを持つことで、日本語や英語で得られる情報を絶対視しない柔軟な思考方法を身につけて下さい。 この講義では、ドイツ語の基礎的な文法を時間をかけて説明して行きます。ハードな水準は求めませんが、授業中に説明した文法事柄の復習に心がけて下さい。	【講義計画】 授業内容や進度は、原則としてテキスト通り			
【成績評価の方法】 前期と後期の試験によります。成績評価はI aとI bの担当者が相談し、総合的に判断して決められます。 詳細はプリント「初級ドイツ語を学ぶ学生のために」を参照して下さい。	【参考文献】 独和辞典必携			
【教科書】 "Ein Tor zur deutschen Sprache -Grundkurs-" 石塚秀樹・杉本省邦、 『ドイツ語の窓 -初学者の視点から- (新装版)』、 東洋出版。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ドイツ語 I b	04	通 期	2 単位	坂 昌 樹
【講義概要・学習目標】 この授業の重点は、反復練習と記憶にあります。はじめて学ぶドイツ語のもっとも大切な規則を、くり返し練習することで、しっかり身につけてください。そのために復習をかねて（たとえば連休明けや夏休み明けなどに）、小テストを行うこともあります。 教科書には、文法にかんする学習を減らし、ドイツ語での会話を試みようというものを選びました。ドイツの風土や文化の紹介も、ゆとりのある限り試みるつもりです。 授業中にわからないことがあったら、単語の意味から文の構造まで、何でもかまいませんからきいてください。ドイツ語の基本で覚えなければいけないことは、できるだけ授業中に覚えてしましましょう。それができない時には、復習をこころがけてください。	【講義計画】 テキストに沿って進めていきます。			
【成績評価の方法】 前期と後期の終わりに試験を行う。また平常点も考慮する。全体の成績評価は、aを担当する教師とbを担当する教師が相談し総合的に決定する。詳細は、I a（初級文法）のクラスで毎年配布している「初級ドイツ語を学ぶ学生のために」というプリントを参照すること。	【参考文献】 独和辞典を毎回持参してください。			
【教科書】 飯島一泰、『ちょっと使えるドイツ語』、同社（¥2200）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ドイツ語 I b	05	通 期	2 単位	村 田 佳 隆
【講義概要・学習目標】 ドイツ語学習の土台をつくるのがこの授業の目標である。発音の練習をまずタツリとこなし、最低限の文法知識を学びながら、いろいろな文章にふれることによって、日常のドイツ語で用いられる基本的な表現や語彙を身につける。 毎回の出席と完全な準備、そしてなによりも授業中の緊張が要求される。	【講義計画】 1. 発音 2. 動詞の現在人称変化 3. 冠詞 4. 前置詞 5. 形容詞 6. 分離動詞 7. 助動詞 8. 再帰動詞 9. 過去・完了 10. zu不定詞 11. 関係代名詞 12. 受動			
【成績評価の方法】 前期と後期の終わりに試験を行う。また平常点も考慮する。全体の成績評価は、aを担当する教師とbを担当する教師が相談し、総合的に決定する。詳細はI a（初級文法）のクラスで毎年配布している「初級ドイツ語を学ぶ学生のために」というプリントを参照すること。	【参考文献】			
【教科書】 須賀、青島 『はじめて学ぶドイツ語文法読本』 白水社				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
フランス語 I a	01 02	通 期 通 期	2 単位 2 単位	赤 瀬 雅 子
<p>[講義概要・学習目標] フランス語は、あまたの外国語のなかで、発音がもっともむずかしい言語のひとつであり、また動詞の活用も多様である。しかし現代思想・現代文学の先端の書はフランス語で書かれたものが目立ち、また国際会議の公用語も英語およびフランス語である場合が多い。現代文化を考える上で必須の言語である。基本的な発音の法則、基本的な動詞の活用等が無理なく段階を経て理解されることを目指しつつ、フランス語の文化的背景をも考察する。</p> <p>読み、書き、話し、聴くことのすべてに一気に上達しようとする意欲はよいが、ただ焦るばかりで、すぐに上達しないと勉学を放棄してしまうこともよくある。それを防ぎ、着実に実力をつけるような勉強方法に中心をおいて学習を進める。</p>	<p>[講義計画] 先ず、発音の基礎をじっくりと学ぶ。これを身につけるにはかなりの時間が必要である。ついでフランス語ではことに重要な動詞の活用を、直説法を中心として学ぶ。命令法・分子法も習得し、易しい文章の読み書きの基本を体得する。ついで条件法・接続法を学ぶ。前置詞も理解できるようになっているので時には学者や作家の書いた名文にも接する。</p>			
<p>[成績評価の方法] 前期末試験と学年末試験の成績が、成績評価の上で重要な部分を占めることはいままでもないが、出席率をよくすることは実力をつける上からも大切である。口頭試験・小テスト等の成績をも加えた総合評価がなされる。</p>	<p>[参考文献] 田島宏編『フランス語 話す』（白水社）</p>			
<p>[教科書] 京都大学フランス語教室編『新初等フランス語教本《文法編》』（白水社）</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
フランス語 I b フランス語 I b	01 02	通 期 通 期	2 単位 2 単位	一ノ瀬 真 美
<p>[講義概要・学習目標] はじめてフランス語を学ぶ学生を対象に、初級文法読本を用いて、簡単な文を読みながら一年間でフランス語の基礎をしっかりと身に付けることを目標としています。授業ではテキストを読んで理解するだけでなく、テープを活用して耳と口を使ってもフランス語になじみ、また、学んだ文法事項についてはかならず応用練習をしますので、実習のつもり極的な姿勢で授業に臨むことを期待します。理解できないことは授業中に質問してその場で解決しましょう。なお、辞書はかならず持参すること。</p>	<p>[講義計画] 最初の授業ではフランス語の発音練習をおこない、その後は以下に示す文法事項をテキストに出てくる順で習得していきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 名詞の性と数；不定冠詞；定冠詞；部分冠詞 2. être, avoir, -er動詞, -ir動詞, その他の主な動詞の直説法現在 3. 否定形；命令形；疑問文 4. 形容詞の一致；所有形容詞；指示形容詞 5. 前置詞 a, de と定冠詞の結合 6. 補語人称代名詞；人称代名詞強勢形；関係代名詞 7. 代名動詞；非人称動詞 8. 複合過去；半過去；大過去；単純未来；条件法；接続法 			
<p>[成績評価の方法] 前期試験と学年末試験で評価します。（学年末試験の方を重視。） なお、外国語の習得には積み重ねが大切なので出席状況の悪いものは試験を受ける資格が無くなります。</p>	<p>[参考文献] 辞書については最初の授業で指示します。</p>			
<p>[教科書] 安田悦子 著 「F・コム・ファシル」（白水社）</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
フランス語 I a	03	通 期	2 単位	オリヴィエ ビルマン Olivier Birman
【講義概要・学習目標】 <p>フランス語を「話す」、「聞く」、「読む」、「書く」ための基本的な文法を身につけることを目的としています。</p> <p>使用する教材（『Dialogues』）はコミュニケーション学習を重視するテキストです。各課の手順は次の通りです。いくつかの短い会話を聞くことから始まります。細部を聞き取れることを忘れて、まず話の大まかな内容を考えます。それから情報のポイントを、ゲーム感覚でチェックします。表現手段を学んで、次は、あなたの番です。同じようなシチュエーションを設定し、実際に使ってみましょう。</p> <p>コミュニケーションの中でこそ文法学習が活きてくるという考えです。</p>	【講義計画】 <p><前期>自分について述べる／挨拶する 人を紹介する 買い物をする／評価する どこかへ行く／注文する 物や人を描写する／評価する等々</p> <p><後期>買い物をする／提案する／拒否する 自分について述べる／人を紹介する／評価する 提案する／承諾する／拒否する／執拗に求める／評価する 電話する／情報を求める等々</p>			
【成績評価の方法】 <p>成績評価は、つぎの3つの合計により与えられます。 ① 出席 ② 提出物 ③ 試験</p>	【参考文献】 <p>『フランス語がわかる』、著者：曾我祐典、白水社、1995 『コレクション フランス語 [3] 文法』、著者：西村牧夫、曾我祐典、白水社、1990</p>			
【教科書】 <p>『ディアログ』 著者： オイヴィエ・ビルマン、木内良行 他 第三書房、1997</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
フランス語 I b	03 05	通 期 通 期	2 単位 2 単位	セシル モレル Cecile Morel
【講義概要・学習目標】 <p>フランス語会話</p>	【講義計画】 <p>聞き取りの練習を中心にする。 習った表現を実際に使ってみることで 表現力を高めていく。</p>			
【成績評価の方法】 <p>出席・宿題・学期末試験</p>	【参考文献】			
【教科書】 <p>Dialogues ティアログ 大阪日仏センター 第三書房</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
フランス語 I a	04	通 期	2 単位	本 多 雄 一 郎
【講義概要・学習目標】 本講義では、フランス語の初級文法を学んでいくが、同時に口頭による訓練にも力を入れ、音読を通して文のリズムに慣れるように練習する。 フランス語は論理的で明解な構造を有するために、今も国際語として重要な地位を占めており、ヨーロッパ統合が進む中でその有用性を保持し続けるでしょう。フランス語の基礎を学ぶうちにそのような言語の特性が感じられれば幸いである。 みなさんは、おそらく同じスタートに立ち、共に第一歩をふみだすことにはなるわけですが、新鮮な気持ちや常に失ひぬが取り組んで下さい。	【講義計画】 (前期) 4月中は主に発音練習を行ない、それと並行して、あいさつや自己紹介などの会話表現を覚えて発音やリズムの感覚を養う。 5月以降、フランス語の動詞の活用を中心に文法の各項目の説明、そしてひきつがき会話表現の訓練も行う。 (後期) 動詞の過去形・未来形など様々な構文を学ぶ。			
【成績評価の方法】 前・後期試験の成績と授業中の平常点で総合評価する。	【参考文献】			
【教科書】 佐藤公彦著『デスティナシオン』 白水社				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
フランス語 I b	04	通 期	2 単位	本 多 雄 一 郎
【講義概要・学習目標】 本講義では、フランス語の「話す」「聞く」という面に重点を置き、ダイナミック教材も併用しながら、口頭による会話表現の練習を段階的に行っていく予定です。テキストは易しい会話文のパターン練習の形式なので、常に音読し、表現能力を養っていきたい。 フランス語の実力を試すものとして仏語検定が実施されており(初級フランス語終了時で検定4.5級相当)、そのほかこの目標におくこともよいので教材に検定の問題をとりいれて紹介する機会もつくりたい。	【講義計画】 (前期) 最初は発声発音の訓練を行ない、その後は自己紹介や日常表現を順次習得していく。 (後期) 前期にひきつがいて自己表現や過去・未来の表現などを学んでいく。			
【成績評価の方法】 前・後期試験の成績と授業中の平常点で総合評価する。	【参考文献】			
【教科書】 佐藤公彦著『デスティナシオン』 白水社				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
フランス語 I a	05	通 期	2 単位	ロー・ヤマサキ・アニー
【講義概要・学習目標】 新しいテキストを言読み、文法・動詞活用・発音などをチェックした上で、簡単な表現が出来るように口頭や筆記の練習をする。	【講義計画】 前期：指定のテキストの第一章から第十章までです。 後期：指定のテキストの第十二章から第二十章までです。			
【成績評価の方法】 出席、平常点と期末試験で評価します。毎週小テストとレポートを行います。	【参考文献】 ロー・ヤマサキ：フランス語のファイル (自家出版)			
【教科書】 ロー・ヤマサキ：Arrangements (自家出版)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
フランス語 I a	06	通 期	2 単位	ロー・ヤマサキ・アニー
【講義概要・学習目標】 発音と文法の基礎を身につけたから、コミュニケーションに使える基本的な表現を使った文章を覚えてたり作ったりします。	【講義計画】 前期：指定のテキストの第一章から第十二章までです。			
【成績評価の方法】 出席、平常点と期末試験で評価します。毎週小テストとレポートを行います。	【参考文献】			
【教科書】 ロー・ヤマサキ：Syntaxe en paroles (自家出版)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
フランス語 I b	06	通 期	2 単位	ロー・ヤマサキ・アニー
【講義概要・学習目標】 ＊さしテキストを読む、文法・動詞活用・発音などをチェックした上で、簡単な表現が出来るように口頭や筆記の練習をする。	【講義計画】 前期：指定のテキストの第一章から第十章までお読みます。 後期：指定のテキストの第十二章から第二十章までお読みます。			
【成績評価の方法】 出席、平常点と期末試験で評価します。毎週小テストと小レポートを行います。	【参考文献】			
【教科書】 ロー・ヤマサキ: <u>Agencement</u> フリントを使用				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
スペイン語 I a	01 02	通 期 通 期	2 単位 2 単位	フェリペカルバホ
【講義概要・学習目標】 この授業では、基礎会話を中心にして、スペイン語の基本的な文法を修得することに重点を置く。従って動詞の直接法の用法や、命令法などは、特に重視しておく必要がある。教科書のスペイン語を録音したカセットテープがあるので、参考として併用されたいと思います。	【講義計画】 易しい会話のために、必要な発音と文法を学ぶ。教科書の第一課から第十九課迄履習予定である。主に規則動詞と不規則動詞の直接法である。後半では、特に動詞の過去と未来、比較級と最上級等を重点的に行なう。毎回、スペイン語作文の宿題あり。			
【成績評価の方法】 試験と授業中の態度・応答・宿題・出席で決める。	【参考文献】 授業で紹介			
【教科書】 フェリペ・カルバホ『HABLAMOS ESPAÑOL I』 大盛堂書房				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
スペイン語 I b	01 02 03	通 期 通 期 通 期	2 単位 2 単位 2 単位	沖 原 雅 美
【講義概要・学習目標】 学習目標 スペイン語初心者を対象に、 1) スペイン語とはどんな言語か 2) スペイン語が使われるのはどんな地域か 3) 効果的な語学学習をどのように行うか を学ぶ。皆さんが今後異文化とうまくつきあっていくための基盤を身につけて欲しい。 講義概要 教科書では、スペイン、メキシコ、日本の文化の比較が会話形式で進められ、また初級文法が取り上げられている。しかし、教科書を受け身的に学ぶのではなく、教科書を利用して、皆さん自身が言いたいことをスペイン語で言えるようにするための、作文練習を行う。ネイティブの先生の授業と並行して受講することを勧める。	【講義計画】 前期 1) 発音とつづりの関係 2) 単文の基本構造（文の必須要素と語順） 3) 動詞を中心とした作文練習（直説法現在） 後期 1) 動詞を中心とした作文練習（いろいろな時制） 2) 複文の構造 3) 命令法、接続法の初歩			
【成績評価の方法】 ①参加への意欲、②参加態度、③努力の結果としての定期試験の得点による総合評価	【参考文献】 授業中に指示			
【教科書】 福島教隆著「コミュニケーションのためのスペイン語」芸林書房				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
スペイン語 I a	03 04 05	通 期 通 期 通 期	2 単位 2 単位 2 単位	ゴンザレス ダ リ オ GonzalesDario
【講義概要・学習目標】 【学習目標】スペイン語に慣れ親しみ、基礎的な発音の習得や・初歩的な会話表現を身につける。 【講義概要】ラテン語から派生したロマンス諸国の一つのスペイン語は、世界の数多い国々で使用されている。日本語と母音が類似していることもあり、音声面からは大変親しみやすい言語であるが、黙読でなく恥ずかしがらずに声をしっかり出して読む・話すことを心掛けなければ、身につくことが半減してしまうでしょう。 本講義では、まず正しい発音で文章を読む事から始まり、辞書を活用することにより語彙力、読解力を養う。又、実践的に使える会話表現を覚える。 語学習熟には、口頭反復練習が大切であるが、会話表現を豊かにする為には西和和西1冊になった小辞典の 携帯を必要とする。	【講義計画】 〈前期〉 1. スペイン語の発音と読み方 2. 挨拶をする、自己紹介、時間や曜日の尋ね方等の初歩的な会話表現 3. 辞書を活用しての簡単な文章の読解 〈後期〉 1. 動詞や疑問詞を使つての作文練習 2. 基本文型を応用した会話練習 3. ヒヤリングの力を身につける。			
【成績評価の方法】 定期試験の成績と出席状況との総合評価とする。	【参考文献】 東谷穎人（著）「すぐに役立つ はじめてのスペイン語」（日本放送出版協会）			
【教科書】 「スペイン語との出会い」佐々木 克実(著)(芸林書房)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
スペイン語 I b	04	通 期	2 単位	松 平 マリア
	05	通 期	2 単位	
[講義概要・学習目標]	[講義計画]			
<p>この講義の目的はスペイン語の文法を運用しながら日常会話でよく使われる表現を覚えることです。この目標に達するためには先生がそれぞれの文法のテーマの応用に当たる日常会話の例を学生に配ります。毎週それぞれの会話を勉強して、必要がある時スペイン、メキシコ、アルゼンチンのスペイン語の特徴についても説明します。</p>	<p>授業は二つの部分に分けられています：1) 先生が配った会話の内容を日本語に訳しながら単語と表現の使い方について説明します（必要があれば復習として文法の説明も行ないます）2) 会話の学習。学生は勉強した表現を使いながら中間達と話します。</p>			
[成績評価の方法]	[参考文献]			
<p>評価は春学期と秋学期のそれぞれの試験により、または学生の授業中の参加により行なわれます。</p>				
[教科書]				
PRIMER ENCUENTRO CON EL ESPAÑOL				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
イタリア語 I a	01	通 期	2 単位	武 田 好
イタリア語 I a	04	通 期	2 単位	
イタリア語 I b	01	通 期	2 単位	
イタリア語 I b	04	通 期	2 単位	
[講義概要・学習目標]	[講義計画]			
<p>イタリア語は音楽的な言葉だと言われるが、発音はさほど難しくなく、我々にはなじみやすい言語である。言語の習得は模倣と反復が基本であるから、積極的に授業に参加して、耳と目を口をフルに使ってほしい。一年間で基本語彙と初級文法を習得することを目標とするが、文法力が話す力、聞く力と常に並行して向上するように、徹底した反復練習を行う。授業では実践的な表現が身につくよう演習形式をとるため、学生諸君自身の意見発表や自己の表現力を問う場面が多くなると考えてほしい。イタリア語の構造を理解しつつ、その場で人間相手に用いることで、より一層の力が定着するよう授業を進めてゆく。また同時に、その言葉が使われている状況を考えることによって「イタリア文化」の輪郭なりとも学習していこう。</p>	<p>【前期】自分のことを話す</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イタリア語のイントネーション、性数の概念 2. 規則動詞、名詞、形容詞 3. 疑問詞との組み合わせによる作文・会話練習 <p>【後期】相手にたずねる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 不規則動詞、補助動詞 2. 目的語人称代名詞 3. 近過去の働き 			
[成績評価の方法]	[参考文献]			
<p>平常点。試験は授業中に数回行う。受講生各々の能力を総合的に判断して決定する。</p>	<p>授業には必ず小学館の『伊和中辞典』を携帯すること。</p>			
[教科書]				
<p>武田好・横山千里著 『Andiamo in Italia! (アンディアーモ・イン・イタリア)』 南欧図書</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
イタリア語 I a イタリア語 I b イタリア語 I a イタリア語 I b	0 2 0 2 0 5 0 5	通 期 通 期 通 期 通 期	2 単位 2 単位 2 単位 2 単位	和 栗 珠 里
[講義概要・学習目標] イタリア語は音楽的な言葉だと言われるが、発音はさほど難しくなく、我々にはなじみやすい言語である。言語の習得は模倣と反復が基本であるから、積極的に授業に参加して、耳と目を口をフルに使ってほしい。言葉の面白さは人間相手に使って初めて実感できるのであって、その国の文化を理解せずに言葉は学べない。授業では実践的な表現が身につくように演習形式をとる。一年間で基本語彙と初級文法を習得することを目標とするが、文法力が話す力、聞く力と常に並行して向上するように、徹底した反復練習を行う。授業の進行は、なるべく本学のイタリア語 I の授業担当者の協議によって、足並みを揃える予定である。	[講義計画] 【前期】 自分のことを話す 1. イタリア語のイントネーション、性数の概念 2. 規則動詞、名詞、形容詞 3. 疑問詞との組み合わせによる作文・会話練習 【後期】 相手にたずねる 1. 不規則動詞、補助動詞 2. 目的語人称代名詞 3. 近過去の働き			
[成績評価の方法] 平常点。試験は授業中に数回行う。受講生各個の能力を総合的に判断して判定し、最終評価は担当者の協議によって決定する。	[参考文献] 授業には小学館の『伊和中辞典』を携帯すること。			
[教科書] 武田好・横山千里著 『Andiamo in Italia! (アンディアーモ・イン・イタリア)』 南欧図書				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
イタリア語 I a イタリア語 I b イタリア語 I a イタリア語 I b	0 3 0 3 0 6 0 6	通 期 通 期 通 期 通 期	2 単位 2 単位 2 単位 2 単位	噺 絵 里
[講義概要・学習目標] イタリア語は音楽的な言葉だと言われるが、発音はさほど難しくなく、我々にはなじみやすい言語である。言語の習得は模倣と反復が基本であるから、積極的に授業に参加して、耳と目を口をフルに使ってほしい。言葉の面白さは人間相手に使って初めて実感できるのであって、その国の文化を理解せずに言葉は学べない。授業では実践的な表現が身につくように演習形式をとる。一年間で基本語彙と初級文法を習得することを目標とするが、文法力が話す力、聞く力と常に並行して向上するように、徹底した反復練習を行う。授業の進行は、なるべく本学のイタリア語 I の授業担当者の協議によって、足並みを揃える予定である。	[講義計画] 【前期】 自分のことを話す 1. イタリア語のイントネーション、性数の概念 2. 規則動詞、名詞、形容詞 3. 疑問詞との組み合わせによる作文・会話練習 【後期】 相手にたずねる 1. 不規則動詞、補助動詞 2. 目的語人称代名詞 3. 近過去の働き			
[成績評価の方法] 平常点。試験は授業中に数回行う。受講生各個の能力を総合的に判断して判定し、最終評価は担当者の協議によって決定する。	[参考文献] 授業には小学館の『伊和中辞典』を携帯すること。			
[教科書] 武田好・横山千里著 『Andiamo in Italia! (アンディアーモ・イン・イタリア)』 南欧図書				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ロシア語 I a		通 期	2 単位	国 松 夏 紀
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>これまでロシア語を見たり聞いたりしたことがありますか？ おそらく多くの皆さんにとって、そもそもロシア文字が未知のものでしょう。ところがこの「ロシア文字一覧表」は英語26文字を「アルファベット」と呼ぶのと同様に「アルファベット」なのです。ただし、より正確には、つまりロシア語風には「アルファヴィート」であり、33文字あります。</p> <p>英語より7文字多いだけのロシア文字とそれらが表す音（やはり独特の音があるいろいろあります）を練習して覚えることから始めます。</p> <p>そして、初級の基本的文法事項を何とか一通り学習して、辞書を使いこなせるようにするのが目標ですが、それよりはむしろ感覚的にロシア語に慣れることが肝要です。教室でも家でも恥ずかしくがらずに、大きな声で発音練習しましょう。</p>	<p>[講義計画]</p> <p>教科書は全部で10課あります。単純に計算すると、2回の講義につき1課、前期5課、後期5課で1冊修了することになります。しかし、なかなか計算通りいかないのが、教室での語学学習です。適度に緩急をつけながら、重要なところはじっくりと、とばせるところはとばしていきます。</p> <p>一つだけ、予め注意しておきたいのは、教科書には書き込みをしないこと。B5判の余白の多い教科書で、つい「読みカナ」をふったり、練習問題の解答を書き込んだりしたくなるのですが、それはノートにすること。教科書をきれいなままにしておき、常に「練習」できるようにしておくことも、意外と語学上達早道なのです。</p>			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>出席を何よりも重視します。とにかく、たとえ予習が間に合わなくともめげずに出てきてロシア語に触れること。その上で、前期末と学年末の試験で総合的に評価します。</p>	<p>[参考文献]</p> <p>辞書に関しては、最初の時間にいろいろ紹介します。といっても、英語やドイツ語、フランス語の辞書に比べても数は限られており、選択の幅は狭くなっています。</p> <p>その他、「参考文献」は、「新旧ロシア情報」も含めて随時授業中に紹介して行きます。</p>			
<p>[教科書]</p> <p>諫早勇一・服部文昭・大平陽一著『セメスターのロシア語』 白水社刊</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ロシア語 I b		通 期	2 単位	杉 野 ゆ り
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>ロシアは隣国でありながら、日本にとってはまだまだ未知の大国です。混迷を極めているロシアの社会情勢は次の段階へ前進するための豊かな可能性を秘めているのです。芸術、スポーツ、政治、経済・・・日露関係のどの分野をとっても未開拓の仕事があります。21世紀を背負って立つことになるみなさん、日本とロシアの研究と交流でパイオニア(先達者)になる夢を描いてロシア語の勉強を始めませんか。未知の分野に挑むチャレンジ精神のある学生の参加を期待します。</p> <p>ロシア語はやりかいと味わいのある言語です。みなさんが知っているラテン文字とは違ったロシア文字の形を楽しみながら、発音を覚え、次第にロシア語文法奥深く入っていきましょう。積極的に授業に参加して、五感をフルに使いながら、根気強く授業についてきてください。</p>	<p>[講義計画]</p> <p>教科書は18課からなります。前期で9課、後期で残り9課の予定です。</p> <p>初級文法の中でもっとも基本的なことについて書かれた教科書ですので、復習予習をしっかりとしながら教科書に書かれていることはすべて覚えるくらいのつもりで付いてきてください。</p> <p>また、教科書にはユーモラスな絵が描かれています。ロシア語の意味が分からないときは絵をじっくりと見つめてください。意味がひらめくはずですよ。</p>			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>平常点（出席回数、小テストなど）と前後期の定期試験の点数によって評価します。</p>	<p>[参考文献]</p> <p>露和辞典必携</p>			
<p>[教科書]</p> <p>中島由美・黒田龍之介・柳町裕子著 「ロシア語へのパスポート」 (白水社)</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
中国語 I a	0 1	通 期	2 単位	芦 田 茂 幸
中国語 I a	0 2	通 期	2 単位	
中国語 I b	0 1	通 期	2 単位	
中国語 I b	0 2	通 期	2 単位	
【講義概要・学習目標】 この地球上では5人に1人が中国語を話している。隣国であるということも含めると、我々日本人にとって中国語を学ぶ意義はとて大きいし、学習希望者も年々増加傾向にある。しかし困ったことは同じ漢字を使っているから、英語と比べてかなり学び易いだろうという錯覚から受講を希望する学生もかなりいるという現実である。中国語学習の過程での目標の第一は、日本人が漢字の読みを一つ一つ覚えたのと同じように、中国語独特のイントネーションとともに、漢字一字一字の固有の発音を会得することである。日本語の漢字の読みを覚えるのに少なくとも小学6年間を要したことを思い出してもらいたい。 確かに補助的に使用するローマ字はあるが、それはあくまで補助であって、主ではない。「英語はだめだったが、中国語なら…」という考えは通用しないのである。 尚、テキストはクラス01、02何れも同一テキストを使用し、a b共通、通年で使用する。	【講義計画】 授業の都合上、前期と後期に分ける。 〈前期〉主として声調・発音に重点を置き、簡単な日常会話から始めるが、中国人の日常生活や風習にも言及し、中国語を親しみ易いものにした。 テキスト1課～10課 〈後期〉日常会話を中心に、暗誦に重点を置き、日常生活における基本的な語彙を習得し、同時に基礎的構文を把握し中国語Ⅱへの足掛かりとしたい。 テキスト11課～20課			
【成績評価の方法】 前期・後期とも2課毎に小テストをそれぞれ5回行い、その平均点に平常成績(暗誦、書き取り、及び出席状況)を加味して総合評価を行う。	【参考文献】 香坂順一編著「簡約現代中国語辞典」B6変型判[光生館]3,500円 蘇 文山 監修「アクセス中日辞典」四六変型判[三修社]3,200円			
【教科書】 牧田英二、楊 立明 共著 新編「例文中心初級中国語」(同学社)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
中国語 I a	0 3	通 期	2 単位	オ ウ ギョウ キョウ 汪 暁 京
中国語 I a	0 4	通 期	2 単位	
中国語 I b	0 3	通 期	2 単位	
中国語 I b	0 4	通 期	2 単位	
【講義概要・学習目標】 初めての中国語、何と言っても発音のマスターが一番重要だ。拼音(ローマ字による発音表記)を頼りに、繰り返し声を出して練習し、正確、きれいな発音を覚えること。その次、最も基本的な文法を中心に、易しい日常会話と平易な中国語の文章を習得。一年間の勉強を通して、「耳」と「口」が中国語に慣れるよう努力すること。 また、中国語の勉強と共に、中国の文化、社会、風俗、習慣などについて紹介する。	【講義計画】 〈前期〉 導入 発音段階 ①拼音(ローマ字による発音表記) ② 四声(中国語のイントネーション) ③ 総合練習 本文の勉強 第5課～第10課 2コマ一課のペースで行う (文法と言葉の使い方の説明、本文の説明、並びに朗読、翻訳、練習) 〈後期〉 本文 第11課～第20課 前期と同じ			
【成績評価の方法】 定期試験、平常点、出席などによる総合評価。	【参考文献】 「デイリーコンサイズ中日辞典」 杉本達夫・牧田英二・古屋昭弘 [共編] (三省堂 1998)			
【教科書】 相原 茂 (編著) 「中国語へのパスポート」 (CD付き 1998年 新版) (朝日出版社)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
中国語 I a 中国語 I a 中国語 I b 中国語 I b	0 5 0 6 0 5 0 6	通 期 通 期 通 期 通 期	2 単位 2 単位 2 単位 2 単位	カ 何 フ 倍 カ 嘉
[講義概要・学習目標] 初めて中国語を勉強する人にとって発音はとても大事なことです。恥ずかしがらずに繰り返して練習したることができます。この一年間を通じて「聞く、話す、読む、書く」の四つの基本技能を勉強すると共に、映画や音楽などを通じて中国文化、中国事情についても理解を深めてもらいたいと思います。	[講義計画] 前期 発音 第一課～第六課 後期 第七課～第十六課			
[成績評価の方法] 期末試験に出席と平常点を加味して総合評価する。	[参考文献] 辞書を購入すること。			
[教科書] 相原茂・陳淑梅・飯田教子著 「一年生のころ」 (朝日出版社)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
中国語 I a 中国語 I a 中国語 I b 中国語 I b	0 7 0 8 0 7 0 8	通 期 通 期 通 期 通 期	2 単位 2 単位 2 単位 2 単位	サ 左 コウ 虹
[講義概要・学習目標] 近年、中国の経済発展、及び香港とマカオの返還、中国語を学ぼうとする人が急速に増えている。語学の勉強は一般の授業と違い、単なる講義を聴くだけではなく、真似したり、考えたり、口にしたりなどの訓練が必要とされる。この一年間の勉強を通じて、ローマ字方式によって漢語の発音を習得し、基礎となる文法と文型を学び、語学における基本技能の「聞く」「話す」「読む」「書く」といったバランスのとれた表現力を身につけようと講義を進めたいと考えている。	[講義計画] 前期において、基礎となるピンインの発音を重点にし、簡単な文法を習得に従って日常会話の能力を養う。 前期の予定：発音編～第8課 後期において、前期で学んだ基礎を元にし、文法と文型を取り入れ、簡単な作文を読む能力と書く能力を養う。 後期の予定：第9課～第20課 前期と後期において、中国語をもっと理解するようにビデオなどで中国の風俗習慣や時事中国や音楽及び映画鑑賞なども積極的に取り入れたいと考えている。			
[成績評価の方法] 前後期の試験のほか、出席率や小テストを平常成績として総合評価する	[参考文献] 「やさしい入門中国語」 丁 秀山・坂井ひとみ 著 金星堂			
[教科書] 「実用中国語」基礎編 王 延平 著 金星堂				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
中国語 I a 中国語 I b	09 09	通 期 通 期	2 単位 2 単位	ジ ョ 徐 コク 国 ギョク 玉
[講義概要・学習目標] ■発音編+20課■ 各課は【课文】【新出単語表】【例文】【練習問題】の4ページ構成。课文は問と答とがストレートに対応する問答体からなる。必要な学習事項は全て例文中に盛り込まれ、各課の要点が自然に体得でき、各課ごとにある練習問題で学習成果の確認ができる。 一年間で初級文法と日常生活に必要な会話表現を一通り学ぶというのが目標です。	[講義計画] 【前期】 第1課～第10課 【後期】 第11課～第20課			
[成績評価の方法] 前期・後期試験の成績及び平常点で総合評価です。	[参考文献] 【精選日中・日中辞典】(東方書店)			
[教科書] 上野恵司 著 『例解中国語入門 新版你问我答』(白帝社)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
中国語 I a 中国語 I b	10 10	通 期 通 期	2 単位 2 単位	ジ ョ 徐 コク 国 ギョク 玉
[講義概要・学習目標] 『中国語はじめての一步』は全部13課です。各課は「大きなイラスト入りの関連単語ヒアリングと中国に関する一口メモ」「8行 一10行の短い会話」「必要最小限の文法」「10題の練習問題」という4ページ構成です。『中国語さらなる一步』は全12課です。各課は「暗誦しやすい短い会話」「文法事項」「ヒアリングを重視した練習問題」で構成です。 一年間で初級文法と日常生活に必要な会話表現を一通り学ぶというのが目標です。	[講義計画] 【前期】『中国語はじめての一步』第1課～第13課 【後期】『中国語さらなる一步』第1課～第12課			
[成績評価の方法] 前期・後期試験の成績及び平常点で総合評価です。	[参考文献] 【精選日中・日中辞典】(東方書店)			
[教科書] 『中国語初めての一步』 『中国語さらなる一步』(竹島金吾監修 伊原春・竹島毅著 白水社)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
中国語 I a 中国語 I a 中国語 I b 中国語 I b	1 1 1 2 1 1 1 2	通 期 通 期 通 期 通 期	2 単位 2 単位 2 単位 2 単位	フ 陳 セイコク 靖 国
[講義概要・学習目標] 概要：この授業を通して、実用的な中国語を覚えましょう。きれいな発音、的確な表現、そして、複雑な専門用語を一切省いた文法。 目標：中国語を覚える中で、中国を知る。	[講義計画] <前期> 概説：中国・日本/中国語・日本語の異同 発音 1～8課 ・拼音(アルファベット表記) ・四声(中国語のイントネーション) 本文講読・会話の練習 第1課～ <後期> 前期の続き			
[成績評価の方法] 定期試験と併せて、授業中練習、平常点、出席等による総合評価。	[参考文献] 「デイリーコンサイス中日辞典」 杉本達夫・牧田英二・古屋昭弘 [共編] (三省堂 1998)			
[教科書] 北京語言学院李培元・任遠共著 《スタンダード中国語(上)》 中華書店 出版				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
朝鮮語 I a		通 期	2 単位	フシ 田 星 姫
[講義概要・学習目標] 本講義は、大学で始めて朝鮮語を学ぶ人のための入門講座である。 このクラスでは、教える項目にゆとりを持たせ、授業時間内で完全に習得することを目標にする。特に前期ではハングル文をすぐに音読できるようにすること、後期では文体や時制の転換、尊敬補助語幹の着脱がすばやくできるようにする訓練に多くの時間を費やす。	[講義計画] 1. 文字(母音字・子音字)と発音 2. 指定詞(肯定・否定形) 3. 指示詞 4. 助詞 5. よく使う会話表現 6. 漢教詞と固有語の数詞 7. 敬語形 8. 意志・推量形 9. 過去形			
[成績評価の方法] 試験、出席率、課題への取り組みなどを総合的に評価する。	[参考文献] 油谷幸利他編『朝鮮語辞典』小学館			
[教科書] 特になし。授業中、毎回プリントを配る。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
朝鮮語 I b		通 期	2 単位	青 野 正 明
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>この授業は朝鮮語の入門である。文字・発音や基礎的な文法を学び、簡単な文章の読解や作文へと進みたい。「朝鮮語 I b」では、文法と簡単な読み書きに重点を置いて、現代の韓国で使われている言葉を中心に学習する。北朝鮮で使われている言葉で韓国と異なるものについても、適宜紹介していく予定である。</p> <p>隣国の言葉を全く知らないということは、よくよく考えてみれば奇妙なことではないか。今、私たちが朝鮮語を学ぶことは、自分たちの生き方としても非常に意義のあることだといえる。</p> <p>1年間を終えた段階では、韓国に旅行に行つて簡単な文章を読むことができるだろう。</p>	<p>[講義計画]</p> <p>前期：第1課～第15課 後期：第16課～第24課</p> <p>時々、歌を聞いたりビデオを見ることも計画している。</p>			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>出席状況、受講態度、期末試験を総合的に評価する。</p>	<p>[参考文献]</p> <p>辞書は授業で紹介する。</p>			
<p>[教科書]</p> <p>高島淑郎『書いて覚える初級朝鮮語』白水社、1993年</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本語 I a		通 期	2 単位	有 川 康 二
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>大学の講義をノートを取りながら聴き、意見を述べ、教科書や参考書として専門書を読み、レポートを書く... 外国語でこれらの作業を行うには高度の外国語運用能力を必要とする。このクラスでは特に、大学の講義を受ける上で必要な日本語の説解力に焦点を絞って訓練を行う。</p>	<p>[講義計画]</p> <p><前期><後期> 内容に関する質疑応答を通して説解作業を行う。また、毎回、説解材料の中の重要なパターンを使用した作文の宿題を課す。</p>			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>出席・筆記試験</p>	<p>[参考文献]</p> <p>辞書を常時携帯すること。</p>			
<p>[教科書]</p> <p>説解資料はこちらで用意する。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本語 I b		通 期	2 単位	友 沢 昭 江
[講義概要・学習目標] <p>この授業では、大学でのさまざまなコミュニケーションに必要な実践力を習得するために、主として「読む」、「書く」に加えて「自分の意見を発表する」ことも学びます。具体的には、新聞記事や短い論文、テレビ番組などの映像を材料に、それを理解し、要約を文章にし、批判を加えた自分の意見を発表するという活動を行います。</p>	[講義計画] <p>授業の前半は主として新聞記事を中心に「読んで理解する」ことを中心に行います。そして後半は、やや長めの文章を読み、その文章に關して出される設問に答えたり、意見を口頭で発表したりします。時事的な問題については、テレビ番組などの映像資料も使う予定です。</p>			
[成績評価の方法] <p>毎回の授業で出される課題による評価を中心に行いますが、出席はもちろん重要な条件です。</p>	[参考文献]			
[教科書] <p>教員が毎回準備するので、特に指定はしません。ただし、じぶんに一番使いやすい辞書は必ず持参すること。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ドイツ語 II a	0 1	通 期	2 単位	高 田 里 恵 子
[講義概要・学習目標] <p>大人になってから学んだ語学を「話せる語学」にするためには、「書く」練習が欠かせない。自分で書けた文章は、聞き取れるし、また話すことができるようになる。この授業は、ごく簡単なドイツ語作文を練習しながら、会話力を伸ばすことを目標とする。地道な努力が報われるような授業にしていきたい。</p>	[講義計画] <ol style="list-style-type: none"> ドイツ語を思い出そう！ ① 文法 ② 会話 sein と werden 助動詞を使って気持ちを表現する 接続法のいろいろ 総合問題 			
[成績評価の方法] <p>前期と後期に試験を行なう。成績（可否）は II b の担当の教員と相談のうえ決定される。また平常点も重視するが、それはたんに出席することではなく、授業に積極的に参加することを意味している。</p>	[参考文献] <p>授業中に指示する。</p>			
[教科書] <p>教科書は使用しない。 プリントを配布するので失わないこと。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ドイツ語Ⅱb	01	通 期	2 単位	坂 昌 樹
【講義概要・学習目標】 <p>できるだけドイツ語を楽しんでみたいと思います。教科書は指定せず、毎回教員が用意します。ですから原則として、この授業に予習はいりません。ポップスなどを聞いたり、インターネットなどを利用してドイツ語を学ぶことができれば良いと考えています。それでも学習の重点は、歌詞などの比較的短いドイツ語の文章を、読み解くことにあります。その際、ドイツ語Ⅰで習ったことの復習だけでなく、ドイツの人々の感情表現を少しでも理解できるようところがたいと思います。わからないことがあったら何でも質問してください。わからないことがあったり、あるいはドイツ語Ⅰで習ったことを忘れてしまっても、そのことを低く評価したりはしません。低く評価するのは、それらを知らないままにしておく態度です。積極的な授業参加を望みます。</p>	【講義計画】 <p>ドイツ語で歌われている童謡、フォークソング、ロックなどを聞きます。</p>			
【成績評価の方法】 <p>前期と後期の終わりに試験を行う。また平常点も考慮する。全体の成績評価は、aを担当する教師とbを担当する教師が相談し総合的に決定する。詳細は、I a(初級文法)のクラスで毎年配布している「初級ドイツ語を学ぶ学生のために」というプリントを参照すること。</p>	【参考文献】 <p>独和辞典とドイツ語I a(文法)の教科書を毎回持参してください。</p>			
【教科書】 <p>なし。毎回のテキストは、教員が用意する。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ドイツ語Ⅱa	02	通 期	2 単位	田 中 秀 穂
【講義概要・学習目標】 <p>初級ドイツ語の授業で身につけた知識をもとに、自分でドイツ語の文を作ってみよう。テキストは、効果的に学べるように文法事項ごとに28課に分けられ、やさしく基本的な短い表現練習問題で構成されている。 練習問題には、必要な単語やヒントが添えられており、和独辞典は不要であるが、独和辞典は必ず持ってくること。 文法事項などで忘れたことや分からないことがあれば、そのつど説明するので、表現してみようとする姿勢を大切に積極的に参加してほしい。</p>	【講義計画】 <p>《前期》 動詞の現在人称変化、定冠詞と不定冠詞、名詞の格変化、冠詞類、前置詞、形容詞、動詞の過去人称変化など</p> <p>《後期》 完了時称、語法の助動詞、受動、再帰動詞、zu不定形、比較級と最高級、関係代名詞、接続法など</p>			
【成績評価の方法】 <p>前期と後期の終わりに試験を行なう。また平常点も考慮する。全体の成績評価は、aを担当する教師とbを担当する教師が相談し総合的に決定する。詳細は、I a(初級文法)のクラスで毎年配布している「初級ドイツ語を学ぶ学生のために」というプリントを参照すること。</p>	【参考文献】			
【教科書】 <p>著者：小塩 節 書名：現代独作文法(改訂版) 発行所：郁文堂</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ドイツ語Ⅱb	02	通 期	2単位	山 崎 充 彦
【講義概要・学習目標】 1 回生で学んだ文法事項を復習しながら、やさしい文章を読み解く力を養います。おぼろげになっている文法知識をさましながら、一步一步進めて行きます。初歩的なことから、分からないことは必ず質問して下さい。 ドイツ語の文体は、最初はとっつきにくいですが、非常に論理的な構造になっているので、パズルを解き明かすような気持ちで読んで行くと面白くなっていくはずです。英語とは違う外国語を学ぶことで、物事を複数の側面から判断する能力を養って下さい。日本語・英語以外のチャンネルを持つことで、日本語や英語で得られる情報を絶対視しない柔軟な思考方法を身につけて欲しいと思います。	【講義計画】 授業内容や進度は、原則としてテキスト通り			
【成績評価の方法】 前期と後期の試験によります。成績評価はⅡaとⅡbの担当者が相談し、総合的に判断して決められます。	【参考文献】 独和辞典必携			
【教科書】 "Allerlei Deutsch" 『ドイツ語万華鏡』、 三修社				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ドイツ語Ⅱa	03	通 期	2単位	竹 田 和 子
【講義概要・学習目標】 このクラスでは、初級クラスで習った文法知識を生かして、ドイツ語作文に挑戦してみましょう。読む、聞く、話すと並んで書くこともとても重要な言葉の技能です。教科書は重要な文法事項を復習しながらドイツ語で表現する能力が得られるように作られています。簡単な対話テキストもありますので自然な表現方法も学ぶことができます。また折りにふれて簡単な会話練習も行なうつもりです。 授業のために和独辞典を買う必要はありません。ただし、外国語の習得には反復練習と暗記という地道な努力が必要です。予習、復習を欠かさず、授業には積極的に参加してください。	【講義計画】 <前期> 人称代名詞、動詞の現在、命令形(1)、疑問詞、前置詞、冠詞、定動詞の位置、数詞、関節疑問文、分離動詞、過去形(1)、話法の助動詞、未来、完了形 <後期> 指示代名詞、前置詞(2)、接続詞、形容詞の格変化、過去形(2)、zu不定詞句、接続法Ⅱ、比較、比較、関係代名詞、受動態、間接話法			
【成績評価の方法】 前期と後期の終わりに試験を行なう。また平常点も考慮する。全体の成績評価は、aを担当する教師とbを担当する教師が相談し総合的に決定する。	【参考文献】			
【教科書】 著者 : 小坂光一 書名 : ドイツ語で話してみよう! 発行所: 同学社				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ドイツ語Ⅱb	03	通 期	2単位	村 田 佳 隆
【講義概要・学習目標】 とにかく復習から始めよう。一年次で学ぶ内容は、おそらく消化不良になっているであろうから、もう一度der, des, dem, denからしっかりと整理しなおすことを最初の目標にする。 毎回の出席と完全な準備、そしてなによりも授業中の緊張が要求される。	【講義計画】			
【成績評価の方法】 前期と後期の終わりに試験を行う。また平常点も考慮する。全体の成績評価は、aを担当する教師とbを担当する教師が相談し、総合的に決定する。詳細は1a（初級文法）のクラスで毎年配布している「初級ドイツ語を学ぶ学生のために」というプリントを参照すること。	【参考文献】			
【教科書】 宮下、クナウプ 『ドイツ語始めの一步』 第三書房				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
フランス語Ⅱa	01	通 期	2単位	一ノ瀬 真 美
【講義概要・学習目標】 すでにフランス語Ⅰでフランス語の初歩を学んだ学生を対象に、まとまった量のやさしい読みものを読みながら、フランス語になじみ、より深い読解力を養うことを目標とする授業です。訳読を中心としたものになりますが、必要に応じて、随時、文法事項のまとめやすすでに学んだ基礎事項の復習をおこないます。また、テキストを声に出して読むことで、フランス語の発音リズムが身に付くでしょう。なお、辞書はかならず持参すること。	【講義計画】 ポール・ギュットが書いたムスティック坊やを主人公にしたシリーズのひとつで、平易で明快なフランス語で書かれた読み物をテキストを使います。ユーモアにあふれる文章に、思わず引き込まれて読み進みたくなる物語です。 <前期> 21頁まで。 <後期> 21頁から 41頁まで。			
【成績評価の方法】 前期試験と学年末試験によって評価します。尚、出席の悪い人は試験を受ける資格が無くなります。	【参考文献】			
【教科書】 ポール・ギュット（著） 「ムスティックと青ひげおじさん」 （駿河台出版社）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
フランス語Ⅱb	01	通 期	2単位	本 多 雄一郎
【講義概要・学習目標】 本講義では、フランス語の文法内容を再度確認・復習しながら、基本的な会話表現をしっかりと身につけることが目標です。そのため、テキストで様々な場面での適切な表現を学習し、CDやビデオでの聞き取りなども行ない、さらには仏換の問題なども活用して表現力を養成していきたい。	【講義計画】 前・後期を通して使用するテキストに沿って基本表現を反復練習していき、自己表現や生活習慣の表現、過去の表現などを学んでいく。			
【成績評価の方法】 前・後期試験の成績と平常点で総合評価する。	【参考文献】			
【教科書】 石野好一他著『フランス語Ⅱ-話す・読む・書く-(改訂版)』 白水社				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
フランス語Ⅱa	02	通 期	2単位	オリヴィエ ビルマン Olivier Birman
【講義概要・学習目標】 フランス語Ⅱa 実際に「話す」、「聞く」、「読む」、「書く」作業を行い、前年度に学んだことを見直しながら知識を広め、理解を深めます。道具は使ってはじめて手になじみ、改善すべき点も明らかになります。フランス語の文法感覚も、フランス語をどんどん使うことによって、磨かれていくはず。なお教科書と連動して、フランス語Ⅱaクラス用の聞きとり、作文、読書の練習のプリントを作ります。	【講義計画】 <前期> 自分について述べる、人を紹介する、評価する、提案する、承諾する、拒否する、執拗に求める電話をする、情報を求める、会う約束をする 等々 <後期> 過去の物語、出来事の展開を話す出来事の背景について説明する事柄を確かでないこととして伝える、事柄を確実なこととして伝える 等々			
【成績評価の方法】 成績評価は、つぎの3つの合計により与えられます。 ① 出席 ② 提出物 ③ 試験	【参考文献】 参考文献 『フランス語がわかる』、著者：曾我祐典、白水社、1995 『コレクション フランス語 [3] 文法』、著者：西村牧夫、曾我祐典、白水社、1990			
【教科書】 『ディアローグ』 著者：オリヴィエ・ビルマン、木内良行 他 第三書房、1997				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
フランス語Ⅱb	02	通 期	2単位	セシル モレル Cec i leMore l
【講義概要・学習目標】 フランス語会話	【講義計画】 聞き取りの練習を中心にする。 習った表現を実際 ^に 使 ^て みる ^{こと} によ ^り て 表現力を高め ^て い ^く 。			
【成績評価の方法】 出席・宿題・学期末試験	【参考文献】			
【教科書】 Dialogues ティアローグ 大阪日仏センター 第三書房				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
フランス語Ⅱa	03	通 期	2単位	ロー・ヤマサキ・アニー
【講義概要・学習目標】 Lecture et traduction mot à mot, diction, vérification des points de grammaire importants, vérification des conjugaisons, quiz du professeur et interview des étudiants. Mémorisation du texte.	【講義計画】 前期: 指定のテキストの第一章から第十章まで 学びます。 後期: 指定のテキストの第十一章から 第二十章まで学びます。			
【成績評価の方法】 出席、平常点と期末試験で評価します。 毎週小テスト×小レポートを行います。	【参考文献】			
【教科書】 P=...ロー・ヤマサキ: <u>Choses de la vie</u> (自家出版)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
フランス語Ⅱb	03	通 期	2単位	ロー・ヤマサキ・アニー
【講義概要・学習目標】 Lecture et traduction mot à mot, diction, vérification des points de grammaire importants, vérification des conjugaisons, expression orale et écrite	【講義計画】 前期：指定のテキストの第一章から 第二十章までですすみます。 後期：指定のテキストの第十二章から 第二十章までですすみます。			
【成績評価の方法】 出席、平常点と期末試験で評価します。 毎週小テストと小レポートを行います。	【参考文献】			
【教科書】 プリントを使用。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
スペイン語Ⅱa	01 02	通 期 通 期	2単位 2単位	フェリベカルバホ
【講義概要・学習目標】 【学習目標】 スペイン語Ⅰで学んだことを基礎として応用発展を目指す。 【講義概用】 講義の最初の部分では、すでに習った文法を復習しながら、更に発展して、スペイン語の文法の規則や表現を理解させるつもりである。 各学生は、授業にノートと筆記用具を持参すべし。	【講義計画】 スペイン語会話のための知識としてのスペイン語より、実際に役立つスペイン語の習得のための表現方法を学ばせる予定である。 本書に謳うように、外国語の習得には、基本的な文法事項の把握とより豊かな表現を可能にする為に、語いを豊富にすることが重要です。目、耳、口、手を十分に使ってスペイン語の学習に努めさせる。スペイン語の「書き取り」も毎回する予定である。			
【成績評価の方法】 試験と授業中の態度・応答・宿題・出席で決める。	【参考文献】 授業で紹介			
【教科書】 VENTANA al mundo hispánico GEIRIN-SHOBO 株式会社芸林書房 著者 石崎優子 フェリベ・レイ				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
スペイン語Ⅱb	01 02	通 期 通 期	2単位 2単位	松 平 マリア
【講義概要・学習目標】 この講義の目的はスペイン語の文法を運用しながら日常会話でよく使われる表現を覚えることです。この目標に達するためには先生がそれぞれの文法のテーマの応用に当たる日常会話の例を学生に配ります。動詞のいくつかの時制を勉強する予定です：点過去、線過去、未来系、過去未来、命令形と接続法現在を一年にわたってゆっくり勉強します。	【講義計画】 授業は二つの部分に分けられています：1) 先生が配った会話の内容を日本語に訳しながら単語と表現の使い方について説明します（必要があれば復習として文法の説明も行ないます）2) 会話の学習。学生は勉強した表現を使いながら中間達と話します。			
【成績評価の方法】 評価は春学期と秋学期のそれぞれの試験により、または学生の授業中の参加により行なわれます。	【参考文献】			
【教科書】 プリント配布				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
スペイン語Ⅱa	03	通 期	2単位	ゴンザレス ダリオ GonzalesDario
【講義概要・学習目標】 【学習目標】 基礎的な知識を応用して、実践的に使えるスペイン語を目指す。 【講義概要】 英語に次いで世界の数多い国々で使用されているスペイン語は近年世界経済の動向・国際交流、観光の面から使用する機会が増えている現状から、まずコミュニケーションの出来るスペイン語を目指し講義を進める。 本講義では、視聴覚教材を活用することにより、スペイン語の全体的な流れを理解すると同時にヒヤリングの力をつける。又、旅行した時に直面する事柄を考えて学習していく。 学生諸君には、常時、西和和西1冊になった小辞典の携帯を必要とする。語学マスターの鍵は、授業に対する積極的な参加・恥を捨てまず人前で話す、根気強く口頭反復練習をする等の各自の努力によると考える。	【講義計画】 〈前期〉1. 空港にて 2. タクシー乗り場 3. ホテルのフロント 4. 銀行での両替 5. 聖家族教会 〈後期〉1. 交通機関（地下鉄、バス） 2. 試着と買物 3. レストランでの注文 4. 郵便物の発送 5. 薬局、病院にて			
【成績評価の方法】 定期試験と出席状況との総合評価とする。	【参考文献】 東谷頼人（著）「すぐに役立つ はじめてのスペイン語」（日本放送出版協会） 宮城 昇（編）「スペイン語 ミニ辞典」（白水社）			
【教科書】 辞書の携帯を必要とする。 プリント				